

令和4年度

愛媛県

SDGs推進企業

取組事例集



愛媛県

はじめに

SDGsとは、持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) のことで、2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。ジェンダー平等や持続可能な産業化の促進、気候変動対策など、17のゴールから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

企業にとっても、SDGsに取り組むことで、社会課題の解決に貢献できるだけでなく、新たなビジネス機会の創出や資金調達機会の拡大、人材の獲得などにもつながる可能性があります。

そこで、県では令和3年度から企業向けにSDGs活動の普及啓発を行っており、その一環として、「愛媛県SDGs推進企業登録制度」を実施しています。

本事例集は、登録制度に登録している企業等の皆様のSDGsの取り組みを取りまとめたものです。企業等の皆様がSDGsに具体的に取り組む上で、この事例集を参考としていただければ幸いです。

愛媛県SDGs推進企業登録制度

愛媛県では、SDGsの取り組みを行う県内企業等を登録する「愛媛県SDGs推進企業登録制度」を実施しています。

登録制度への登録を通じて、企業等の皆様のSDGs活動が見える化し、SDGs活動を促進するとともに、その活動を対外的に発信していくことを目的としています。

○登録のメリット

- ・登録マークの使用
- ・SDGsの取り組みを県HPなどでPR

○登録対象者

愛媛県内に本社または支社等を有し、県内において事業活動を行う法人、個人事業主

○申請の方法

下記URLに、実施要綱、申請書、Q&Aなどを掲載しています。申請書に必要事項を記入いただき、電子申請システム又は郵送にて御提出ください。

<https://www.pref.ehime.jp/h30100/sdgs/touroku.html>



CONTENTS

 〈最優秀賞〉 社会福祉法人エリム会	3
 〈優秀賞〉 株式会社CPI	5
 〈優秀賞〉 佐川印刷株式会社	6
 〈奨励賞〉 川之江信用金庫	7
 〈奨励賞〉 福神汽船株式会社	8
株式会社山装	9
株式会社田窪工業所	9
金生商事株式会社	10
四国竹林塗装工業株式会社	10
株式会社宝荘ホテル(道後御湯)	11
農業生産法人株式会社ミヤモトオレンジガーデン	11
ジャスティン株式会社	12
株式会社日本有機四国	12
岡田電機株式会社	13
トヨタカローラ愛媛株式会社	13
松竹塗装有限会社	14
株式会社四国ライト	14
菊池建設工業株式会社	15
株式会社ダスキン椿	15
東京海上日動火災保険株式会社 愛媛支店	16
株式会社ニューズ	16
株式会社コスにじゅういち	17
株式会社ベルモニー	17
コンフォートホテル松山	18
愛媛海運株式会社	18
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 松山営業所	19
みずほ証券株式会社 松山支店	19
株式会社ローソン	20
青木電気工業株式会社	20
株式会社大石工作所	21
東武トップツアーズ株式会社 松山支店	21
①西日本電信電話株式会社 四国支店	
②NTT ビジネスソリューションズ株式会社 愛媛ビジネス営業部	22
③株式会社NTT フィールドテクノ 愛媛設備部	
大王製紙株式会社	22
株式会社中温	23
四国加工株式会社	23
有限会社田中総業	24
株式会社建設マネジメント四国 松山営業所	24
損害保険ジャパン株式会社 愛媛支店	25
白石建設工業株式会社	25
重松兄弟設備株式会社	26
住友生命保険相互会社 新居浜支社	26
株式会社日淺	27
愛媛トヨタ自動車株式会社	27
株式会社山全 愛媛営業所	28
株式会社建設マネジメント四国 大洲営業所	28
株式会社 ONE'S STYLE NISHIKAWA	29
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 愛媛支店	29
株式会社ライアル	30
株式会社広告通信社 四国支店	30
株式会社西四国マツダ	31
有限会社土居真珠	31
株式会社光和電機	32
荒川電工株式会社 松山営業所	32
株式会社勝建設	33
株式会社グラン・ジュテ	33
企業組合こもねっと	34
IH テクノロジー株式会社	35
リープグロウ合同会社	35
有限会社ウエコー	35
愛媛県 SDGs 推進企業一覧	36



SDGs 達成に向けた取組み

子どもたちと一緒に SDGs



目的・背景

「子どもたちが誰一人取り残されず、幸せに生きることができる持続可能な社会の実現に向けて、子どもの心を育てる。」ことを目標に、子どもたちと一緒に世界に目を向け、興味関心に合わせた様々な活動を実施しています。子どもたちと一緒に取り組むにあたって、職員たちは園内研修をはじめ外部の研修にも積極的に参加しています。

具体的な取組内容

【園庭をエディブルガーデンに】

子どもたちと一緒に、園庭に野菜やハーブ、果樹など食べられる植物を植えて、エディブルガーデンにしようという取組みです。

<さくら幼児園とえりむ児童クラブのエディブルガーデンの概要>

- ・なるべく種から育て、子どもたちが自然の不思議と喜びを感じられるようにしています。無農薬有機栽培です。
- ・園庭の畑や田んぼは憩いの場になっています。園庭に出ると、自分の畑やクラスの畑の様子を見に行く子どもが多くなってきました。植物の緑や土を触ることは、子どもたちの心の癒やしになっていると感じます。
- ・近隣の方や伊予農業高校の生徒さん、保護者の方との交流の場となっています。
- ・食料供給の場としても役立っています。令和3年のシェイクアウト

トエひめ避難訓練の時には、炊出し実地訓練も行い、エディブルガーデンの春菊・大根・水菜・ごぼう・人参をたっぷり入れたうどんを作って食べました。令和3年はコロナのため、近隣の方の参加をお断りせざるを得ませんでした。令和4年は合同で実施しました。

- ・給食の残食や、園庭のドングリや桜の落ち葉は全て土にかえし、有機物の有効利用と廃棄物の削減に役立っています。
- ・子どもたちはこの活動を通して、食料と水の大切さをさらに感じています。
- (5月) 園庭の自分の畑に自分が選んだ種を蒔きました。大豆を育て豆腐を作る予定でしたが、カメムシに襲われ、収穫が少なく豆腐作りは断念、令和5年に再チャレンジしようと考えています。トウモロコシは順調に生育していましたが、もうすぐ収穫という時に、おそらく害獣に根こそぎ食べられました。
- (6月) 田んぼ(以前は砂場だった)で田植えをしました。有機肥料、無農薬で稲を育てました。
- (7月) 梅雨入り前、児童クラブの子どもたちと雨樋の途中に貯水タンクを設置し、雨水を貯め、散水に使用しました。屋上のプールの水をサイフォン効果により下ろし、水田やエディブルガーデンに利用しました。



エディブルガーデン



自分の畑に自分が選んだ夏野菜の種を蒔く



小さいけど自分の畑



トマトもカボチャもスイカもオクラもキュウリも



落ち葉で腐葉土を作るために手作りで作成



腐葉土



雨水タンク



サイフォン効果によりプールの水を田んぼに入れる



スイカの収穫



キュウリの収穫



里芋の収穫



園庭の田んぼで稲刈り

【伊予農業高校との連携活動】

- (7月) 伊予農業高校の生徒さんに教わり、一緒にブルーベリーの挿し木を行いました。
- (11月) 挿し木したブルーベリーが発根したので、生徒さんの指導の下、一株ずつ鉢に植え替えました。



ブルーベリーの挿し木



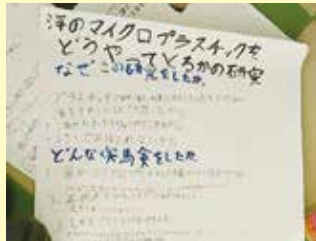
ブルーベリー

【五色浜をきれいに—マイクロプラスチックの研究—】

- (6月) 五色浜のごみ拾いを行いました。
- (8月) マイクロプラスチックの回収の仕方を研究しました。五色浜で拾ってきたプラスチックをマイクロプラスチックに割り、水に浮くかどうか調べました。水に浮くプラスチックと沈むプラスチックがあることに気づきました。近海で獲れた魚の体内にプラスチックがあるか調べました。
- (8月) ドイツに滞在している小学生と、ドイツのプラスチック事情を聞くなど、Zoomでオンライン交流を行いました。



五色浜ごみ拾い



マイクロプラスチックの研究



マイクロプラスチックの研究発表



ドイツと Zoom でつなぎ
プラスチック事情を聞く

【廃材での製作活動】

- (8月) 不要になった建具を再利用し、ストラックアウト（遊具）を作りました。
- (8月) 廃材で船を作り、プールに浮かべました。4人で乗っても沈まない丈夫な船を作ることができました。
- (11月) 廃材で巣箱作りを行いました。
- (12月) 廃材とペットボトルでクリスマスPETツリーを作りました。



ストラックアウト完成



廃材巣箱

【食品ロス削減の取組み】

- ・令和3年度、地元の商店からいただいた廃棄する予定だったポップコーンの種を様々な方に配布しました。それがきっかけで地域との輪が広がり、令和4年度マルシェを3回開催することになり

ました。

- ・食品ロス削減の一環として、給食の残食を意識するための取組みを行いました。クラス毎で線付きのざるに残食を移し、線より下だったらシールを貼り、シールが貯まったら、献立リクエストやクッキングができるという取組みを実施。楽しみながら食品ロスの削減に取り組みました。

【園内研修】

- (令和3年12月) 「園児と育む 2030年の先にある未来」
愛媛大学 小林教授
- (令和4年9月) 「ファッションとSDGs」
愛媛大学 竹下准教授
- (令和4年10月) 「OECD ラーニングコンパス」他
愛媛大学 富田准教授
- (令和4年11月) 「心においしくやさしく」～Japanese Dining への～
代表 二宮氏

【成果】

住み続けられるまちづくりのための「園庭をエディブルガーデンに」の活動については、道を通る近隣の方々が「よくできているね」「あれは何が生えるの」などと声をかけてくださり、交流が広がっています。近隣の方が誰でも採って食べることができるレモンやユスラウメなどの木も徐々に育ってきました。また、愛媛大学の先生方、学生ボランティアたちのご協力により、児童クラブの子どもたちは興味を持っていたプラスチックごみ問題についてのグループワークや実験をして充実した時間を過ごすことができました。五色浜のプールで泳いだ帰り道、溝にたくさんのゴミが落ちているのを見過ごすことができず、拾うことにした（ゴミ袋2袋分）子どもたちの姿を見て、海や陸の豊かさを守ろうという心が育っていると感じました。児童クラブにいながら、世界のこと（ドイツや世界の海）に目を向けることができました。



エディブルガーデン スイカ



マイクロプラスチックの実験

【担当者の思い】

誰一人取り残さない持続可能な社会の創り手を育みたいと考えています。持続可能な社会づくりを構成する6つの視点や課題解決に必要な「7つの能力・態度」は就学前から、遊びの中で育まれると思います。子どもたちと楽しく、身近なところから、継続的に取り組んでいこうと思います。(さくら幼稚園 園長 桑波田 みか)



株式会社 CPI

アワード優秀賞

代表者 / 代表取締役 本宮 薫
業 種 / サービス業
所在地 / 愛媛県松山市宮西 3 丁目 4-40
連絡先 / 089-904-2077

SDGs 達成に向けた取組み

愛媛 SDGs ライスバッグを通して



目的・背景

愛媛を知っている人も知らない人も、愛媛が好きになり興味を持つきっかけとなって欲しいという思いで取り組みました。愛媛 SDGs ライスバッグを通して、アップサイクル商品の開発及び福祉就労支援を行うことにより、地域の魅力を発信し故郷愛を育むとともに、仲間づくりにつなげています。

具体的な取組内容

アップサイクル×福祉就労支援×地域創生とは

一度使用した、廃棄処分される 30 キロの米袋をリサイクルした物と、未利用資源のデニムを活用し、愛媛 SDGs ライスバッグを制作・販売しました。当バッグは、アップサイクルブランドとして新しい価値を生み出しています。バッグの制作は、福祉就労継続支援事業所に依頼し、通所者の方々へ仕事を生み出すことで、働きがいを創出しています。当バッグは、令和 4 年 2 月 20 日「愛媛県民の日」に発売開始しました。愛媛を代表する観光名所である道後温泉の商店街や百貨店、道の駅、スーパーマーケットでの販売に加え、SNS を活用したライブコマースなどで毎月「グローバル物産展」に出展し、愛媛の自慢の品を詰め込んだ「愛媛お楽しみ袋」として紹介しています。また、ライスバッグを購入された方々に、『旅するライスバッグ』としてライスバッグと一緒に出かけ、愛媛の良き場所を紹介していただくことで、仲間づくりにつなげるとともに郷土愛を育む愛媛の PR バッグとしても各地へ飛び出しています。

成果

「愛媛 SDGs ライスバッグ」を活用していただくことにより、障がいを持つ方々の就労支援や働きがいの創出につながっています。また、廃材米袋と未利用資源のデニムの活用により、資源循環ができ、ゴミの削減につながります。

そして、スポーツイベントでは、愛媛マンダリンパイレーツや愛媛ブレスの選手にサインをしていただき、世界に一つだけのオンリーワンの宝物バッグが生まれ、SDGs 推進キーアイテムとして周知活動ができました。

また、松山商工会議所第 18 回松山ブランドコンテスト「NEXT ONE」で金賞「松山市長賞」を受賞しました。さらに、県が実施する「愛媛県資源循環優良モデル認定制度」(スゴ eco) では、優良リサイクル製品として認定をいただくことができました。



愛媛 SDGs ライスバッグ 表裏

担当者の思い



SDGs に積極的に取り組む「まな媛プロジェクト」を社内の新しい部門として立ち上げました。第一弾として、愛媛 SDGs ライスバッグでアップサイクル×福祉就労支援×地域創生を図り、持続可能な社会活動をスタートできたと思います。これからも地域の魅力につながる活動をしていきます。(代表取締役 本宮 薫)





SDGs 達成に向けた取組み

「えひめのスゴ技 (2.5D リアルプリンティング)」を活用した 愛媛県美術館・えひめ視覚障がい者との触図共同開発



目的・背景

創業の地である南予地域の高齢化や過疎化の課題に向き合い、雇用を維持するため、自社の吉田工場を最新のデジタル印刷技術に特化した工場として、えひめのスゴ技にも認定される技術を有し、付加価値の高い製品開発を行ってきました。

具体的な取組内容

2.5D リアルプリンティングは、平面上に質感を加え、凸凹を生み出す特殊なプリント加工によって表現する印刷で、えひめのスゴ技にも認定していただいています。

令和 2 年度より愛媛県美術館で取り組まれている「えひめ視覚障がい者をつくる「みることを考える」プロジェクト」での制作物において、自社の 2.5D リアルプリンティングが貢献できると考え、共同開発をお願いしました。

令和 3 年 7 月から 12 月、触れる時の姿勢や説明のしやすさなどに配慮したデザイン (台紙の素材・レイアウト・フォントなど) 制作にあたり、視覚に障がいを持つ方との協働や愛媛県美術館様の専門的な知識によって、自社の技術開発が進みました。令和 4 年は他の作品でも 2.5D リアルプリンティングを展開することができ、特別展でも共同開発として展示しました。

成果

令和 4 年 1 月、企画と印刷現場が一体となり、トータルな印刷技術向上を目指し技術力を競い合う「日本アグファ・ゲバルト主催 Sublima+ Contest 2021-2022」において、インクジェット部門銀賞を受賞。業界に対して取組みの周知にも貢献しました。

令和 4 年 8 月～ 9 月、愛媛県美術館「特別展 みる冒険ゆらぐ感覚」にて手ざわりの絵葉書 (愛媛県美術館所蔵作品より 5 点) を制作、展示していただき、来場の皆様に体験していただきました。



担当者の思い

SDGs を通じて、愛媛県美術館様が取り組む視覚に頼らない美術鑑賞の楽しみ方と、自社の 2.5D リアルプリンティングにこめた想いが合致し、ぜひこの技術で表現したいと新しいことに挑戦することができました。

〈本社ソリューション第一営業部 部長 重松 正嗣〉



川之江信用金庫

代表者 / 理事長 日浦 博基
業 種 / 金融業
所在地 / 愛媛県四国中央市金生町下分 1089 番地 1
連絡先 / 0896-58-1300

SDGs 達成に向けた取組み

「日本一の“紙のまち”四国中央市ツアー」初開催



目的・背景

当金庫が本拠地を置く四国中央市は、紙の生産量が 16 年連続日本一という実績を持つ紙のまちです。一方、四国中央市には「霧の森」や「翠波高原」などの観光地は存在しますが、観光より産業としての印象が強く、観光客の誘致が十分に行えていないというのが現状です。

かかる状況下、地域金融機関として、観光事業への取組みを通じて四国中央市の活性化を図るべく、「四国のお宝」の一環として、四国旅客鉄道株式会社および四国中央市と連携を図り、**市内観光ツアーの企画・実施**に取り組みました。

※四国のお宝とは、四国に存在する地域資源・文化資源を掘り起こし、地域と協働し、付加価値付けされた観光素材・文化素材に磨き上げ、観光による地域活性化を目指す取組み。

具体的な取組内容

一般社団法人四国地区信用金庫協会と四国旅客鉄道株式会社が観光による地域活性化を図る目的として、令和 3 年 4 月 14 日付で連携協定を締結。当金庫は、本事業の取組みである四国中央市ツアーを開催するべく、最初の段階として、**四国中央市の地域資源の掘り起こし及び再評価を実施**。その後、再評価した四国中央市の魅力ある地域資源にストーリー性と観光・文化要素を加えたツアー企画書を作成。そして、ツアーに付加価値付けを行うべく、地域事業者・四国中央市とも連携し、ツアーコンテンツの磨き上げを行いました。

【ツアー工程】

- ①紙のまち資料館見学
 - ・初めに四国中央市の主産業である紙産業について歴史や魅力を学ぶ。
- ②島津寿司にて昼食
 - ・本ツアーのために特別に考案した御膳（四国中央市の特産品である里芋「伊予美人」を使用）を提供。
- ③大王製紙株式会社の工場見学
 - ・①で学んだことについて、実際に最新鋭の工場を見学し、紙の製造工程等について理解を深める。
- ④伊予水引細工体験
 - ・紙の製造とは異なる新しい紙の楽しみ方をストラップ作りを通して知る。
- ⑤お土産購入
 - ・川之江商店街にて地域の名産品に触れる。

連携内容については、下記の通りです。

【JR 四国との連携】

一般社団法人四国地区信用金庫協会と四国旅客鉄道株式会社が地方創生にかかる連携協定締結（R3.4.14）

- ・お宝カルテ（企画書）の作成（R3.11.29～12.28）
- ・立ち寄り先の提案、調整（R4.8～9）
- ・実施に向けた視察の実施（R4.3.10）

【四国中央市との連携】

四国中央市との地方創生に関する包括連携協定締結（R4.9.20）

- ・観光に関する初めての取組みを実施
- ・四国中央市保有施設利用

【地元企業との連携】

お土産や昼食等、四国中央市らしさを前面に押し出せるよう地元企業へ協力依頼（R4.8.25）し、製紙工場の見学においては四国中央市とも連携を図り大王製紙株式会社に依頼しました（R4.8.31）。

※大王製紙株式会社の製紙工場は通常一般顧客向けは非公開。今回は市の活性化につながる取組みとなることから、特別に許可を得ました。

【伊予水引金封協同組合との連携】

当金庫は令和 3 年度から地場産業の維持・発展に向けた積極的なサポートを行うべく、伊予水引金封協同組合と連携を図っています。その取組みの一環として、水引細工体験を通して魅力を発信すべく企画への協力を依頼しました（R4.8.29）。

成果

令和 4 年 12 月 7 日・8 日に本ツアーを実施し、**両日 20 名のお客様**が参加されました。参加者からは紙産業の歴史や最新鋭の工場見学、貴重な水引細工体験などにより喜びの声を多くいただき、本ツアーを通して、四国中央市の魅力の発信に貢献できました。また、昼食やお土産購入などにより、地元特産品の PR や事業者の売上向上および知名度向上に貢献できたことも挙げられます。今後も四国中央市の持続的発展に貢献できるよう取り組んでいきたいと考えています。



担当者の思い

SDGs は日常生活の中に隠れており、無意識のうちに実践していることも多いように感じます。意識して行うことで達成感を得たり、実施後にこれも SDGs だったのかと新しい発見につながったりしているように思います。今後の生活の中で SDGs は不可欠なものになると思うので、より一層意識を高めて取り組みたいと思います。
(地域産業創生部 一般職 熊野 小都)



福神汽船株式会社

アワード奨励賞

代表者 / 代表取締役 瀬野 利之
業 種 / 船舶貸渡・管理業
所在地 / 愛媛県今治市北日吉町 2-8-55
連絡先 / 0898-34-7711

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs とデジタルイノベーションの融合による「次世代の船舶管理会社」を目指す



目的・背景

当社は令和 3 年 10 月に ESG 推進室を立ち上げ SDGs を中心とした ESG 経営をスタートしました。

モノづくりをしている会社でないため「不特定多数の人・社会」へのアプローチはなかなか難しいのですが、「船舶オーナー兼船舶管理」という本業をベースに昨今の社会・環境の課題に取り組み、企業として成長していきたいという強い意志を持っています。

船舶管理においては脱炭素、海洋汚染防止、海上人命安全といった条約規則はもちろんです。さらに SDGs を考慮した独自性を持って「次世代の船舶管理」を目指します。

そして、何をやるにも「人材こそが資産」という社長の思いで健康経営にも力を入れて取り組んでいます。

具体的な取組内容

①専門チームを立上げ、クラウド系の船舶管理ソフトを利用した新しい管理体制の導入開始（陸上及び船舶）

船舶管理会社の最大の使命は船の安全航行です。ひとたび船が重大事故に遭うと海洋汚染や人命損失など環境、社会、船員の命に大きな影響をもたらします。そのためにも船の安全を守ることが永遠の課題であり、今回は船員の労働時間を圧迫する書類作業削減に注目しました。

規則で要求される多くの記録や報告書をできる限り効率的に作成し、より安全航行に集中できる環境を整えるべくデジタルイノベーションを取り入れることにしました。

1 年かけて数多くの船舶管理ソフト会社（海外）と打合せを進め、弊社の求めるスタイル（より安全・効率的・効果的）のソフトを選定及び導入を決定しました。船舶管理業の一元化を実現するソフトであり船舶管理とデジタルイノベーションをかけた新しい取組みです。これにより数多くの紙ベースの報告書を削減することが可能となります。また、陸上海上共有のクラウド管理のため船陸の Email も大幅に減らすことができます。（令和 3 年 12 月より新造船にてトライアル開始）

②船員への安全教育をオンラインで開催（Webinar）

弊社では安全運航徹底のために定期的（フィリピン・韓国で年 3 回ずつ）に下船中（休暇・待機中）の船員に安全セミナーを開催しています。新型コロナウイルス感染症で令和 2 年 2 月より現地でのセミナー開催ができていませんでしたが、令和 3 年 12 月より Webinar 形式による開催を始めました。オンラインのため、通常はフィリピン及び韓国に向かいに行くものを移動なしで合同で行えるというハイブリット型のセミナーとなりました。（令和 4 年中 3 回実施）

③船員が最も船上で求める食材「生野菜・果物」を長持ちさせる新技術を船内冷蔵庫に導入（令和 3 年 12 月～）

弊社は船員を 1,000 人以上抱える船会社です。（主にフィリピン人）長期間の洋上勤務の中で、食事は乗船する船員にとっての限られた楽しみのひとつであり、健康管理の大事な要素でもあります。長い外洋航海では、野菜や果物などの腐りやすい生鮮食材は長持ちさせることが難しく、どうしても航海後半には冷凍品や加工食品が中心となり、料理のバリエーションが少なくなり、食事のバランスも偏りがちです。船乗りにとって新鮮な野菜や果物は陸上生活をする人には想像ができない程貴重なものであり、健康支援のためにも何かできないかと検討してまいりました。そして最新の技術を使って食品の鮮度を長く保つ機器「DENBA」の船上冷蔵庫への導入を開始しました。



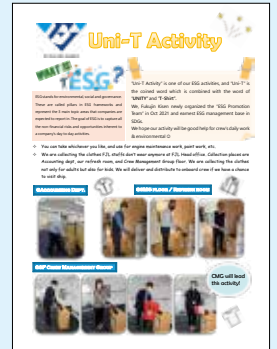
DENBA テクノロジーは、様々な食品の賞味期限をより長く延長することができます。また食材の凍結時によるダメージを低減し、より高品質の解凍を行うことで、船内へ積み込んだ食材のロスを減らすことにもつながります。

④陸上職員の古着（T シャツ）を船に届けて船内作業向けの消耗品として活用（Uni-T Activity）

船内では汗をかく作業、汚れる作業が多くあり、船員は少しでも多く衣服を消耗品として持っていた方が安心です。乗船時に持ち込める服の量も限られているため、陸上職員が訪船時に古着を持ってきてくれると喜ぶのでは？という発想から始めました。（令和 4 年 10 月）

この活動の名前は unity「結束、団結」と T シャツを掛け、弊社オリジナルのネーミングで「Uni-T Activity」としました。社内に 3 か所 Box を設置し、随時社員が古着を入れられるようになっています。

ボイラースーツのインナー用 T シャツのイメージでしたが、T シャツ以外の衣服も集まり、結果的に船員のオフ時間用の服や本国へ持って帰る目的のものにもなり非常に喜ばれています。



【その他の活動事例】

- ⑤各家庭から不用品を集めて社内フリーマーケットを開催
- ⑥社員へのハラスメントセミナー実施
- ⑦企業主導型保育園との契約
- ⑧ビーチクリーン活動への参加

成果

令和 3 年 10 月に ESG 推進室が立ち上がり、今回はその直後であったため特に熱い思いで SDGs に取り組みました。取組内容で紹介しました 8 事例以外にも恒常的に行っている活動もたくさんございます。

「DENBA」（船内の食品の鮮度を長く保つ機器）や「Uni-T Activity」（陸上の古着を船員へ届ける活動）は効果が短時間で現れ、かつ船員の喜ぶ顔が見られたことが陸上職員のモチベーションにもなりました。最大の成果は「本業をベースにどう SDGs を取り入れていけるか」という課題を着実に進められたことだと考えています。

担当者の思い

弊社では平成 18 年に ISO14001 を取得して船舶管理の国際規格（ISM コード）と合わせて会社のマネジメントシステムを構築してまいりました。

しかし、ISO はマンネリ化から免れず、特に ISO14001 は環境に特化したシステムのため幅が限られており、環境以外でも社会に貢献できるもの、企業を成長させられるものはないかと平成 30 年頃より悩んでいたところ、SDGs を知り、是非取り組んでみたいと思い始めました。

その思いと社長の ESG 経営を始めようというベクトルが合致し、ESG 推進室の立ち上げと SDGs 活動の開始につながりました。

SDGs への意識と取組みは企業の価値そのものだと考えています。企業と無関係のゴールを目指すより、本業をベースに「自社が関わっているモノ、人、地域」を考慮することで自分たちに何ができるかのヒントを得ることができます。

これからも様々なアイデアを出し合って SDGs を推進し、内部・外部より選ばれる企業でありたいと思います。

〈ESG 推進室 室長 原田 瑞紀〉

株式会社山装

代表者 / 代表取締役 山本 明利
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県松山市保免上 1 丁目 15 番 19 号
連絡先 / 089-943-0373

SDGs 達成に向けた取組み

愛媛県及び保免・余土地区の地域貢献・地域活性化



目的・背景

新型コロナウイルス感染症によりイベントの多くが開催見送りの対応を余儀なくされてきましたが、令和4年度は数多くのイベントが3年ぶりに開催されました。暗いニュースが続く中、地域住民の笑顔が戻るよう、イベントに協賛してまいりました。

また、会社の近所周りの清掃活動や、リフォーム会社として塗装キャンペーンを実施し、地域住民の方が気持ちよく「住み続けられるまちづくり」を目指し活動を実施しています。

具体的な取組内容

イベントへの協賛として

8月度「22 マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会」「第57回松山野球拳おどり」

9月度「石鎚山ヒルクライム」「Bリーグ、オレンジバイキングスの開幕戦」

10月度「地方祭、日招八幡大神社に会社へ来ていただき祈禱と獅子舞披露」「雑巾がけレース Z-1グランプリ in せいよ」

上記どのイベントも新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶり開催ということで、例年よりは参加者や観戦者も少なかったようですが、どのイベントも楽しく、今後も続けていってほしいと思えるすばらしいイベントばかりでした。

11月度はイベントではありませんが、毎年1回実施している近隣清掃を少し足を延ばし、日招八幡大神社にて神社及び周辺の清掃を実施し、近隣の方からもお礼の声をいただきました。

また、近隣の方向けに9月以降に激安で戸建ての塗装キャンペーンを実施し、専門業者として地域に貢献しました。

また、近隣の方向けに9月以降に激安で戸建ての塗装キャンペーンを実施し、専門業者として地域に貢献しました。

成果

イベントについては、3年ぶりの開催ということで主催者側の力の入り方がすく、地域活性のためにご協力をお願いして協賛しましたが、逆にパワーをもらいました。新型コロナウイルス感染には気を付けないといけません、やはりイベントの必要性を感じ、今後も参加できるイベントには参加し、地域の元気を取り戻すきっかけになればと強く感じました。

塗装キャンペーンには9月～11月で3戸のお声がけをいただき、全戸塗装しました。皆さん安く綺麗になったと喜んでいただき、専門業者としての地域貢献もできたのではと思います。今後も塗装以外でも建物でお困りの方のお役に立てたらと思います。

担当者の思い

地域貢献・活性化を目標に活動していく上で、具体的な活動内容や目標をSDGsの項目に当てはめることができ、社員の意識が一つになったのが非常に良かったです。今後も担当者の指示で動くのではなく、社内全員で意見を出し合い、活動を続けていきたいと思っています。(統括部長 中岡 健二)



株式会社田窪工業所

代表者 / 代表取締役社長 黒田 祐弘
業 種 / 金属加工業
所在地 / 愛媛県西条市北条 962-7
連絡先 / 0898-65-5000

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 視点による清掃活動への参加



目的・背景

当社は経営理念である「便利で豊かな生活の創造」をもとに、3つの大きなテーマを掲げてSDGs活動に取り組んでいます。

その3つのテーマの1つである「社会を豊かにする」活動として、海岸清掃活動を行いました。このような活動を通して、持続可能なまちづくりを進めることを最終目的に取り組んでいます。

具体的な取組内容

「リフレッシュ瀬戸内」高須海岸清掃活動への参加

令和4年7月1日に、瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会が主催している清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」事業の一環である、高須海岸清掃活動へ参加しました。

成果

海岸清掃へは当社から37名の参加がありました。社員だけでなく家族で参加してくれた方もおり、SDGs17のゴールのうち11「住み続けられるまちづくりを」及び14「海の豊かさを守ろう」に貢献しました。



担当者の思い

今回、毎年行っている海岸清掃活動を推進室主催で行うことで、私たちが普段行っている活動を通じてSDGsに貢献できるということを社員に伝えることができ、より身近に活動を感じてもらったと思います。

今後は会社主催での社外清掃活動の企画も考えています。

(営業本部 主任 藤田 真由美)

金生商事株式会社

代表者 / 代表取締役 藤川 聖文
業 種 / 製紙原料 (パルプ・古紙) 卸売
所在地 / 愛媛県四国中央市金生町下分 2102-1
連絡先 / 0896-56-2220

SDGs 達成に向けた取組み

事業そのものが循環型社会への貢献



目的・背景

昭和 50 年の設立以来、紙を中心としたリサイクルを通して地球環境保全に取り組んでまいりました。メイン事業である製紙原料卸売の古紙部門の事業そのものが循環型社会や SDGs への貢献であることを全社員に浸透させ、自発的に紙の分別やアップサイクルをさらに加速させることを目標に取り組んでいます。

具体的な取組内容

令和 4 年 6 月に弊社としての SDGs 宣言を制定し、宣言書や愛媛県 SDGs 推進企業のロゴ等を社員の目に入るよう全事業所に掲示しています。どの事業がどのように循環型社会に貢献しているのかということ社員に浸透させることで、働きがいや環境に対する意識の向上を図り、SDGs を身近に感じてもらえるように取り組んでいます。また、Z 世代である担当者が、SDGs や環境に対するセミナー等を受け、その知識を全社員に共有する等、ベテランの社員にも興味を持ってもらえるように社内広報活動に取り組んでいます。令和 4 年 5 月に工場の増設を行っており、工場事務所の建て替えも完了しました。日頃より SDGs の達成のために何ができるかと考えてい

る中で、工事のタイミングで自社で使用する太陽光発電設備をつけるのはどうかという議論が上がりました。弊社としては初めて 100% 自社で使用する太陽光パネルを設置する予定です。

成果

普段の作業が SDGs への貢献や地球環境保全に貢献していると感じていた社員は少なく、まずは知ることからの取組みになりましたが、結果として社員の意識付けにつながることができて良かったです。損紙において再生資源にするかゴミにするかは大きな違いです。この取組みは、8「働きがいも経済成長も」に貢献したと感じています。

担当者の思い

中小零細企業で働いている人は、SDGs などの取組みをどこか他人事を感じていると思います。大企業が取り組むことは当たり前になってきていますが、SDGs の目標を達成するためには中小零細企業が本気で取り組み、SDGs を常に意識することが必要になってくると思います。今後も周りを巻き込み、SDGs の達成に少しでも近づけるように努力します。〈取締役 藤川 功基〉



四国竹林塗装工業株式会社



四国竹林塗装工業
S-TAKEKAWA CO., LTD.
EST. 1968

代表者 / 代表取締役 池田 昭大
業 種 / 塗装工事業
所在地 / 愛媛県新居浜市泉池町 3 番 24 号
連絡先 / 0897-33-9381

SDGs 達成に向けた取組み

シェアウエス活動



目的・背景

塗装作業で使用するウエス (工業用のぞうきん) は使い古しの衣類等を購入して使っていましたが、家庭から出る不要な衣類を捨てずに寄付していただいていたウエスとして使用することでゴミの削減と資源の循環を図っています。

具体的な取組内容

まずは社内にてシェアウエス活動について周知し (R4.9)、回収ボックスを設置し寄付を募りました。ウエスの消化具合や裁断作業のスケジュールを把握し、SNS と HP で寄付を募ったところ (R4.11) 社外からの協力を得ることができました。

成果

今まで何気なく使用していたウエスや捨てていた衣類について活動を起こしたことにより、資源の有効利用について考えるきっかけとなりました。また SDGs の活動に参加しているという意識が高まり、協力していただいた社外の方とのつながりができました。



担当者の思い

簡単に参加できる SDGs の活動に取り組むことで、社員の SDGs に対する意識が高まり地域社会に貢献しているという実感が得られました。今後も社内全員で取り組める SDGs 活動を考え、目標の達成に貢献していきます。〈事務 佐々木 春奈〉

株式会社宝荘ホテル (道後御湯)

代表者 / 代表取締役社長 宮崎 光彦
業 種 / 旅館ホテル
所在地 / 愛媛県松山市道後鷺谷町 2-20
連絡先 / 089-931-7111

SDGs 達成に向けた取組み

持続可能な温泉文化の継承と地域共生への取組み (自然環境に配慮した取組み)



目的・背景

国内を代表する温泉地である「道後温泉」の御湯の恵みを存分に活用しながら将来も継続して温泉街の賑わいを保つため、自然環境への配慮や地域共生を十分に意識した旅館運営（経営）が必要であると考えています。

具体的な取組内容・成果

◇自然環境に配慮した取組みの具体例

- ・宿泊予約客数の増減により道後温泉からの配湯をコントロール(休止・給湯の手続き)しています。(丸1日の給湯休止で約54トンの温泉の節水)
- ・食事は完全予約制。予約時にアレルギーや苦手な食材のヒアリングを徹底することで作り過ぎない、食べ残さないフードロス削減のオペレーションを実行しています。
- ・露天風呂及び客室空調は、**各室個別システム導入**によりエネルギーの消費を抑制しています。
- ・館内及び外観(外壁)の照明はすべてLED化しています。
- ・全客室シャワーに**ウルトラファインバブルヘッド**を採用。これによ

り肌の洗浄・保湿・保温に効果があるとともに、使用水量の従来比50%の節水につながっています。

- ・館内全てのトイレには、**節水型洗浄機付き便座**を導入しています。
- ・宿泊客へ提供するアメニティグッズ(クシ・歯ブラシほか)の**脱プラ化**を推進しています。プラ以外の製品の採用やプラ成分量の少ないバイオマスシリーズのアメニティを導入しています。
- ・隣接する**自社所有建物屋上に太陽光発電パネル**を設置して、再生可能エネルギーの有効活用の仕組みを導入しています。



全客室空調の集中管理システム(省エネ)



ウルトラファインバブルヘッドシャワー(節水)



バイオマスアメニティシリーズ(脱プラ)



自社社屋屋上に太陽光発電パネル

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

代表者 / 代表取締役 宮本 泰邦
業 種 / 農業
所在地 / 愛媛県八幡浜市産業通 2-20
連絡先 / 0894-21-3123

SDGs 達成に向けた取組み

持続可能な農業の実現に向けた、国際認証の推進、農業機械の電動化、新商品開発



目的・背景

当社は「持続可能な農業」の実現に向けて、農業の国際規格であるグローバル GAP 認証の維持更新に取り組んでいます。社員一人一人が、お客様・取引先・社員とその家族、および地域と農業界に喜んでいただけるように取り組み、SDGsの実現を目指します。

具体的な取組内容

- 1) 農業の国際規格**グローバル GAP 認証**の推進は、食品・労働・環境の安全に配慮した持続可能な農業実現に向けた取組みです。(グローバル GAP は SDGs の達成に貢献するものです。) 当社は平成 27 年から毎年継続して、維持更新を行っており、令和 4 年 7 月に更新審査を行いました。
- 2) これまで当社で使用する農業機械は、化石燃料を使用していました。排気ガスなどの環境に配慮するだけでなく、騒音低減や軽量化、振動抑制などを目指して、令和 3 年より、主要な農機具である、草刈り機、チェーンソー、耕運機、背負い動噴を**電動に切り替え**ました。
- 3) これまで当社はみかんの新たな価値を創ることに尽力してきま

した。当社オリジナル調味料である**塩みかん**を活用した新商品開発を愛媛大学の学生と行いました。また、新商品を開発しており、さらに新柑橘加工場を立上げ中です。

成果

- 1) 継続して更新を行いました。
- 2) 継続して環境配慮や、騒音低減、軽量化・振動抑制などによる作業者の負担軽減を実現しています。
- 3) 塩みかんを活用した新商品開発を継続して進めていることや、新加工場の立上げでは、塩みかんやジュースやゼリーなどを自社製造し、さらには地元の生産者の加工も担っていく予定です。

担当者の思い

令和 3 年度の「えひめ SDGs アワード 2021」での最優秀受賞の反響は大きく、内外から非常に高くご評価をいただきました。ありがとうございました。今後も継続して取り組んでまいります。
(代表取締役 宮本 泰邦)



ジャスティン株式会社

代表者 / 代表取締役 種田 宗司
業 種 / 製造業
所在地 / 愛媛県四国中央市川之江町 3125-3
連絡先 / 0896-58-4455

SDGs 達成に向けた取組み

「Seal Demand Gateways」推進



目的・背景

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】

当社が創業来、製造・販売しているパッキン・ガスケットという工業部品は、プラント内の配管の気体や液体の漏れを防ぐという大切な役割を担っています。つまり、地球環境の保全に貢献しています。また、環境負荷を軽減する機械装置も取り扱っており、国内だけでなく海外にも販売しています。

【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】

海外展開の第一歩として、令和4年度は「外国人材の採用活動強化」に取り組まれました。外国人材の採用は、海外で事業拡大するという側面だけでなく、平等で働きがいのある職場づくりにも貢献するものです。当社では、女性の活躍推進、男性の育休取得推進、有給休暇の取得推進、といった取組みをトップ主導で進めています。その結果、女性の管理職への登用も進み、令和4年度も新たに課長職1名、係長職1名が就任しました。そして、社員の健康についても取り組み、その総括として令和4年も健康経営優良法人の認定を受けました。

また、令和4年度にパッキン・ガスケットの取り扱いに関する研修施設を設立しました。この施設は、人手不足で教育が不十分となることにより生じる離職率の増加といった社会問題の解消にもつながります。当社が技術研修を行うことによって、地域企業の技術力向上と企業定着率の向上、地域産業の強化を図っていきます。

具体的な取組内容

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】

パッキン・ガスケットをはじめとしたシール材の製造・販売（通年）
【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】

令和4年4月：外国人材 3名入社

令和4年8月：防災士 4名誕生

令和4年9月：研修施設 設立

成果

【事業活動の国内・海外展開による環境負荷低減】

シール材の製造・販売を通じて、環境負荷の軽減に貢献できています。

【みんなで幸せになれるジャスティンという環境づくり】

- ・外国人材を採用したことにより、社内のダイバーシティが進みました。
- ・防災士を育成したことにより、マイ・タイムラインの作成に着手しました。BCPの強化に加え、地域の安全にも貢献できました。
- ・研修施設を通じ、まずは社内の技術教育が行えました。今後は社外へ展開していきます。

担当者の思い

SDGsに積極的に取り組んでいることで、採用活動において弊社への関心が高まっています。また、当社が行うSDGsの取組みを社内でも共有することにより、社員のSDGsに対する関心が高まっていると感じています。また、事業を通じてSDGsに貢献しているので、自分の仕事に誇りを感じています。〈企画室 課長 中谷〉



株式会社日本有機四国

代表者 / 代表取締役 大石 隆憲
業 種 / 産業廃棄物処理業・再生資源リサイクル・肥料販売
所在地 / 愛媛県西条市旦之上乙 303 番地 3
連絡先 / 0898-66-5001

SDGs 達成に向けた取組み

食資源をコアとした地域循環 共栄圏の構築



目的・背景

取組 No1：食の循環サイクル数拡大…「地域における循環型社会の構築」

取組 No2：慣行栽培提唱…「農産物生産の脱炭素化」

取組 No3：廃棄物のアップサイクル化…「柑橘搾汁カスの有価化」

具体的な取組内容

取組 No1：ブロッコリーの専門農業法人を囲い込み、新 BtoB 型循環サイクルを構築しました。既存の循環では、狙いとする肥料成分を得にくい面がありましたが、新型循環では、弊社肥料の製造に必要な成分を得やすい「ブロッコリー」に着眼し、生産量が安定している「農業法人」を循環サイクルに組み込むことで、安定した肥料の製造が可能となりました。

◆取組実施時期＝令和4年7月～

取組 No2：地域専業農家に対し、農林水産業のCO₂ゼロエミッション化を目指す農林水産省策定「みどりの食糧システム戦略」を实践提唱し、化学肥料を使用する慣行栽培からの脱却にご理解とご賛同を得られるようコア農家と勉強会を開催しました。

さらに、西条市内の専業農家から賛同を得て、有機質肥料 (COERU) 施肥の実証を行いました。

稲作…令和3年4月、「こしひかり」(1,000㎡) に施肥

里芋…令和4年5月、「伊予美人」(1,400㎡) に施肥

取組 No3：柑橘加工事業者が行う柑橘の搾汁の過程で出る廃棄物を使用した化粧品香料等の商品化に向け、実証・検討を行っています。

●当社取組みは、西条市の広報さいじょう 11月号 SDGs 特集に掲載されました。

成果

取組 No1：持続的な有機質成分肥料の製造が可能となり、より一層の廃棄物削減や安定した食資源の循環化に寄与しました。

取組 No2：COERUの施肥により、「こしひかり」は収量10%、「伊予美人」は収量20%増加しました。二酸化炭素排出量は試算中です。

取組 No3：安定供給に向け保存手法検討中です。

担当者の思い

慣行栽培に地域農家様が理解を示していただき、米・里芋で実証することができ一定の効果があつたことにより、他の近隣農家様から実証に参画したい旨、ご要請がありました。当社が指向する「地域のために会社はあり、会社は地域とともに栄える」の志が確かであったことに成実感があります。〈参与 小林 栄充・総務 萩森 ゆかり〉

岡田電機株式会社

代表者 / 代表取締役 秋山 順
業 種 / 電気工事業
所在地 / 愛媛県四国中央市三島朝日 2 丁目 20 番 2 号
連絡先 / 0896-23-4188

SDGs 達成に向けた取組み

地域の環境保護を目的とした 清掃活動



目的・背景

少子高齢化などによる人口減少が全国的な問題となっており、愛媛県も例外なく人口減少の危機に直面しています。地元をこれからも守っていくためには、様々な規模での施策が必要になります。県規模の人口減少を一企業が直接的に解決するのはなかなか難しいため、弊社として何が出来るかを考えた時に、まずは環境面での貢献に着目しました。

具体的な取組内容

身近にできる地域貢献の一環として、毎月第一火曜日の始業前の時間を使って、会社周辺の清掃活動を実施しています。溝にたまった土の除去、道端に捨てられたごみの回収、雑草の除去など、様々な活動を行っています。

また、清掃活動をより有意義にするため、社員に清掃方法や清掃場所などについてのリサーチを行い、定期的に見直しを行っています。

成果

清掃活動によって、SDGs の 17 の目標の中で、主に 11「住み続けられるまちづくり」に貢献しました。一部の社員だけではなく社員全員で清掃活動を行うことで、幅広く活動を行うことができています。

また、清掃活動を通して、地域貢献に対する社員の意識がより高まったと感じました。



担当者の思い

愛媛県 SDGs 推進企業に登録し、いろいろと活動を続けていく中で、SDGs に対する理解度が登録前と比べて格段に高まったと感じます。

清掃活動を続けていくことで住みやすいまちづくりの一助になっても、それだけで SDGs の全ての目標を達成できるわけではありません。まだまだいろいろな視点からの取組みをしていく必要があります。企業だからできること、この業種だからできることなど、今は思いついていないだけで岡田電機ならではの取組みもきっとあるはず。これからも SDGs の取組みを続けていく中で、岡田電機ならではの取組みを見つけ、実行できるように日々精進していきます。(財務部 部長代理 内田 悠介)

トヨタカローラ愛媛株式会社

代表者 / 代表取締役社長 松田 卓恵
業 種 / 小売業 (自動車販売業)
所在地 / 愛媛県松山市中央 1-16-5
連絡先 / 089-922-3311

SDGs 達成に向けた取組み

アークスポーツ (パルクール) を 通した子育て支援



目的・背景

「子どもにとっては学び場、大人にとっては頼り場」をモットーに親子支援を目的として設立した習い事の施設を当社内に開設。ただの習い事ではなく、子どもたちにとっての「安心できるもう一つの居場所」というコンセプトで習い事の時間外も施設を開放する等、住み続けられるまちづくりや、勉学以外の教育の提供という観点で取り組んでいます。

具体的な取組内容

令和4年5月に弊社、エヒメスポーツエンターテイメント (愛媛オレンジバイキングス)、河原学園、Cocoro-to の4社で「EHIME Mixing Park CK」を立ち上げ、6月からパルクール教室を開始しました。

小学校低学年から高学年の児童を対象にそれぞれの体力や技術に合わせたクラスを設置し、少人数制でのきめ細かい指導を実施しています。夏休み中は期間を設けて夏期講習を実施。レッスンの合間には子どもが学校の宿題等ができるよう会議室等の場所を提供しました。

また、8月には山登りも企画しました。保護者帯同はなく上記の施設運営者と子どもたちだけでチャレンジすることで、子どもたちの自主

性、自立性を育むとともに、運営に携わる担当者の育成を図りました。1月にはパルクール教室に通う子どもたちの演技発表会を行いました。

成果

子どもの体を動かせる場所が年々減っていく中、専用施設で思い切り体を動かすことができるので、子ども以上に保護者に喜んでいただいています。

メディアで取り上げられることも多く、それに伴い会員数も順調に増えてきており、11「住み続けられるまちづくり」に貢献できているものと考えています。



担当者の思い

社員がこの取組みに対して積極的に関わることで、子どもたちの学び場、大人にとっての頼り場を提供するのみならず、その子どもたち・保護者から多くを学ばせてもらえることも同時に可能となり、SDGs・社会貢献に対する社員の意識やモチベーションの一助となっていることを実感しました。本事業を今後もしっかり継続して展開・進化させていきたいと思っております。

(営業推進課 課長 林 啓介)

松竹塗装有限公司

代表者 / 代表取締役 村上 潤
業 種 / 塗装業・建設業
所在地 / 愛媛県松山市針田町 56-12
連絡先 / 089-973-7399

SDGs 達成に向けた取組み

インフラ保全工事を通じて 環境配慮と地域社会とのつながり



目的・背景

過疎化・高齢化の進む地域でのインフラ保全工事を通じて、地域・町内行事活動での人手不足問題に対し少しでもお手伝いすることで、助け合いの輪を広げたいと考えています。また、インフラ保全工事では環境配慮型プラスチック工法によるクリーンな環境維持をテーマに産業廃棄物の削減・環境配慮・リサイクルに取り組んでいます。

具体的な取組内容

高知県の町仁淀川橋塗替え工事の施工にあたり、工事開始前の地域関係各所へのごあいさつ回りの際、町内会の方々とお話しする機会があり、お話の中で工事現場周辺での過疎化・高齢化による人手不足などのお話を聞きました。少しでもお役に立てることがないか町内会の方々とお話しさせていただき、6月と10月に行われる河川草刈り行事と、年末に行われる町内餅つき行事への参加依頼を受けました。また、インフラ保全工事では、令和3年度に引き続き環境配慮型プラスチック工法による施工で研削材リサイクル・産業廃棄物の大幅削減・環境配慮を掲げ施工しています。

成果

6月と10月の草刈りをお手伝いさせていただきましたが、やはり町内参加者の方々には高齢の方が多く、毎年の力仕事は大変そうで少しでもお役に立てて良かったと感じました。残すところ12月の町内餅つき行事のみですが、町内会の方々とコミュニケーションを図りながら楽しく取り組みたいと思います。今回のインフラ保全工事を通じて、単に工事をするだけでなくやはり地域社会とのつながりを大切に、今回のような活動を続けていくことが大切だと感じました。



株式会社四国ライト

代表者 / 代表取締役 神村 正之
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県今治市延喜甲 840 番地 1
連絡先 / 0898-31-8851

SDGs 達成に向けた取組み

全社員防災士の資格取得



目的・背景

平成30年7月豪雨による被災時、宇和島市に営業所を構える弊社は、緊急復旧出勤をした経験があります。建設業者としての使命感から、日頃より防災への意識を持ち、地元地域の安全、災害対策を講じることができるよう、有事の際は、すぐに対応できるようにBCPも含めて取り組んでいます。

具体的な取組内容

人材育成を通じた社員の技術向上のため、資格取得支援をしており、建設業に特化した技術・資格だけではなく、防災工事を請け負う弊社として防災士の取得も奨励しています。令和3年までは4名の防災士資格取得者があり、令和4年度も2回（6～7月）の愛媛県防災士養成講座に積極的に参加させていただきました。

成果

全社員13名のうち、残り9名全員が防災士資格を取得できました。受注した土砂災害防止法関連の標識等の受注工事では、受講から資格取得、道路利用者の立場になって、今まで以上に、安全を第一に考えた道路施設の提案、設置を心がけるようになりました。その他、緊急の通学路対策工事でも、地元の建設業者として、子ど

もたちが安心して利用できるような施設と工事を心がけました。資格取得したことで、地域や家庭内で防災・備蓄について、話し合える機会ができ、日頃からの意識向上につながりました。



担当者の思い

社員がSDGsの取組みに気負うことなく、ISOを取得推進している弊社として、日頃の取組みがSDGsにつながっていることを繰り返し説明することで馴染んできたように感じます。また、今後取り組もうとしている他社の方とも交流・話す機会が増えたように実感します。（事業推進部 部長 越智 貴洋）

菊池建設工業株式会社

代表者 / 代表取締役 菊池 臣起
業 種 / 総合建設業
所在地 / 愛媛県松山市別府町 620-2
連絡先 / 089-953-1256

SDGs 達成に向けた取組み

下水道管路のストックマネジメントの推進



目的・背景

日本の下水道管渠の総延長は約 49 万 km あり、標準耐用年数 50 年を経過した管渠の延長約 2.5 万 km、20 年後は 19 万 km (39%) と今後は急速に増加します。

そのなかで、国が推進する既存ストックを活用し、耐用年数を延伸するというストックマネジメントの考えに基づき、管路更生の各工法の技術取得に取り組んでいます。

具体的な取組内容

以前は、スクラップアンドビルドという考えのもと、古くなったものを壊して、新しいものを設置するという開削工法でインフラ（下水道管）の健全性を保っていました。

従来の開削工法では、大型の機械・車両を使用するため、それに付随し多くの燃料を必要とすることとなり、温室効果ガスの排出量が増え、また多くの産業廃棄物（老朽管）の発生があります。

しかし現在では、既存の下水道管を活用し、耐震化・長寿命化を図る管路更生への取組みが各自治体で進んでいるため、地域のインフラに携わる企業として、様々な現場環境に応じた対応ができるよう高品質

で多彩な工法を取り扱い、工事を実施することで、温室効果ガスの削減・産業廃棄物の削減につながっています。

施工現場例

松山市発注工事「公共下水道管渠長寿命化対策工事（その 17）」(R4.11 完成)

八幡浜市発注工事「八第 8-31-1 合流管管渠更生工事」(R4.10 完成)

成果

適正な工事をを行い、下水道管理者の要求事項を完遂することで、SDGs17 のゴールのうち、6「安全な水とトイレを世界中に」11「住み続けられるまちづくりを」13「気候変動に具体的な対策を」に貢献しました。



工事前



工事後

担当者の思い

SDGs やカーボンニュートラルへの取組みが、必要不可欠な時代が既に到来していると感じているので、今後も可能な範囲で取組みを継続していきたい。(代表取締役 菊池 臣起)

株式会社ダスキン椿

代表者 / 代表取締役社長 河野 康弘
業 種 / サービス業(お掃除用具のレンタル・販売・ハウスクリーニング・高齢者介護)
所在地 / 愛媛県松山市東長戸 4 丁目 2 番 17 号
連絡先 / 089-923-0100

SDGs 達成に向けた取組み

「『坂の上の雲』のまちを歩こう 23 風早ウォーク～河野氏発祥の地をたずねて～」への協賛及び運営参画



目的・背景

松山市、南海放送、伊予鉄道が主催する「『坂の上の雲』のまちを歩こう 23 風早ウォーク～河野氏発祥の地をたずねて～」へ協賛及び運営参画を行いながら、健康増進のイベント運営と合わせてダスキンの社会貢献活動「クリーンアップマイタウン」を実施しました。

具体的な取組内容

■主旨：この「クリーンアップマイタウン」という活動は、ダスキンが平成 18 年から全国で実施させていただいている、身近な街を一緒にキレイにするゴミ拾い活動です。現在まで 33 万人の方々に 16 トン以上のゴミを拾っていただいているもので、今回は北条風早ウォークのコース上に落ちているゴミをウォーキングを楽しみながら参加者の方々に拾っていただく活動です。

日時：令和 4 年 10 月 23 日 (日) 9:00～15:00

場所：北条 文化の森公園

成果

結果：一般参加者数 800 名 (ダスキンスタッフ 12 名)
収集ゴミ 12Kg

その他：RNB 南海放送 (土曜日 16:55～OA) ホット情報内にて、ダスキンの社会貢献活動が放送されました。

その他の活動：毎月 22 日に JR 松山駅前を 6:30～7:10 まで清掃活動を行っています。5 人～10 人で 40 年継続して行っています。

★JR 四国様より 感謝状をいただきました。



担当者の思い

従業員のご家族(お子さま)との共通会話が生まれ、社会貢献活動の話題でコミュニケーションが取れたとの声を聞いています。また、継続して、「ダスキン=環境衛生の会社」との認識をもってもらえることの意義が大きいかと考えています。

(ダスキン椿 総務部 金田 安彦)

東京海上日動火災保険株式会社 愛媛支店

代表者 / 課長代理 奥谷 歩美
業 種 / 保険業
所在地 / 愛媛県松山市本町 2 丁目 1-7
連絡先 / 089-915-0123

SDGs 達成に向けた取組み

防災・減災等の取組みによる災害に 強い地域づくりへの支援



目的・背景

当社は「お客様や地域社会の“いざ”をお守りする」というパーパス（存在意義）を起点に、時代ごとの社会課題解決を自ら探り出し、保険本業を通じてその課題解決に貢献する取組みを行っています。事故や災害から保険を通じてお守りすることだけでなく、防災・減災等を通じて、事故の未然防止や事前の安心のご提供にも取り組んでいます。特に、「未来世代」をステークホルダーとして明確に位置付け、「子どもたちへの教育・啓発」を重点領域として活動しています。事故や災害への「正しい知識」や「日頃の備え」を理解していくことで、災害に強い地域づくりにつなげることを実現するために、各学校で行う出前授業「ぼうさい授業」を実施しています。

また、持続可能な地域を皆でつくるをテーマに地方創生をカードゲームで考える「SDGs de 地方創生」のカードゲームの開催や、近年急速に高まるサイバーリスクに対するセミナー開催にも取り組んでいます。

具体的な取組内容

- ・「ぼうさい授業」を愛媛県内の小学校 17 校に提案し、6月～12月で16校に実施しました。
- ・「SDGs de 地方創生」カードゲームについては、愛媛県・今治市・宇和島市・西条市とも連携し、市の職員向けや市民向け、高校生や当社取引先企業向けに、合わせて12回実施しました。

・近年のサイバーリスクの高まりを受け、9月に愛媛県警および商工会議所とタイアップし、県内企業（181社）向けに「サイバーリスクセミナー」を実施しました。

成果

「ぼうさい授業」では、クラス・学年単位で、高学年の児童へ「地震・津波・水災・土砂災害の発生の仕組みや対応についてや、備えること・家族と話し合うことの大切さ」の授業を開催。SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」11「住み続けられるまちづくりを」13「気候変動に具体的な対策を」に貢献しました。

「SDGs de 地方創生」カードゲームでは、SDGs とは？や SDGs の考え方を参加者が理解し、地域の活性化に向け地方創生を実現する方法をカードゲームを通じて体感することで、具体的なアクションにつなげることを促進し、企業での SDGs 宣言に向けたコンサル支援を実施しました。

「サイバーリスクセミナー」は、181社の参加があり、セミナー後「サイバーリスク保険」も含めた最新情報の提供を行って、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献しました。

担当者の思い

当社の事業そのものが社会課題の解決であり、“事業を推進すればするほど社会課題の解決につながる、世のため人のためになる”、この思いが使命感となっています。また、SDGs への取組みを体感し、社員ひとりひとりのモチベーション向上につながっています。お客様や地域社会から信頼され、真に必要なとされる“Good Company”となることをこれからも目指していきます。
〈愛媛支店業務グループ 課長代理 奥谷 歩美〉

株式会社ニューズ

代表者 / 代表取締役 土居 裕子
業 種 / 農業
所在地 / 愛媛県西宇和郡伊方町河内 1448-1
連絡先 / 0894-38-2165

SDGs 達成に向けた取組み

多様性を強みに変える企業へ



目的・背景

弊社は20代後半から30代の女性スタッフが多く在籍しています。女性にとって一番ライフステージが変化する年齢において、ひとりひとりが幸せに働ける環境をつくるのが会社の使命だと思い、取り組みました。また、個人の成長＝チーム（会社）の成長だと考え、自分自身で成長を実感できる組織にするべく評価制度を導入しました。

具体的な取組内容

スタッフひとりひとりと面談を行い、今後のライフプランを共有。個人にあった成長の機会を提供しています。

成果

令和4年度全国優良経営体表彰
【働き方改革部門】農林水産大臣賞受賞



担当者の思い

出産をしても働きたいというスタッフが増えたこと、またパートだったスタッフが子育てをしながら時短の正社員で働いてみたいと言ってくれたことが、SDGs の取組みにつながっています。ライフステージの変化が多い30代の女性スタッフが多く在籍する弊社で、ひとりひとりが幸せだと思える働き方を選択できるように引き続き取組みを行います。

〈代表取締役 土居 裕子〉

株式会社コスにじゅういち

代表者 / 代表取締役社長 近藤 基起
業 種 / 非鉄・金属製品製造業
所在地 / 愛媛県西条市ひうち字西ひうち 8 番 18 号
連絡先 / 0897-53-5111

SDGs 達成に向けた取組み

将来の事業継続、人や国の不平等をなくすために、
ネパール人を技術者として受入・教育していきます。



目的・背景

ネパール人を、電気技術者として雇用しました。昨今の新卒者・中途採用者の人材不足の中、中小企業にとっては採用活動が難しい状況下にあります。そのために、国内にとられず、海外の優秀な人材を確保し、今後の経営継続に寄与してもらうようにしました。将来、ネパールで製造が行えるようにと考えています。

具体的な取組内容

ネパール人大学生を受け入れて、電気技術者とするべく令和2年7月より検討していました。そうした中で、令和2年9月に2名の受入者を決定し、令和3年4月入社方向で予定していましたが、新型コロナウイルス感染症で出国及び入国ができないため、ネパール国内で日本語・電気専門知識の勉強に費用負担をして行ってきました。外国人の出入国が可能になった、令和4年8月17日に入国し、8月22日入社となりました。

社内においては、現在、電気製造課に所属し、日本語（専門用語含む）や電気設計（ハード・ソフト）及び電気組立配線等を学んでいます。近年、新入社員や中途採用者が入社してこない現状もあり、外国人の

優秀な人材を確保していく必要があります。当人材が育つことにより、社内の人材不足が緩和されてきます。また、次なる人材確保や、ひいては海外製造展開にも進んでいけると思っています。社内においては、インドネシア出身の機械加工者も3名従事しており、地元日本人従業員と同様な作業に従事しています。



成果

日本語は、生活する上での会話は問題なし（漢字の読み書きが必要に）。電気技術習得は、現在パソコンを使用して設計図面を作成勉強中。また、現場技能実習等も行い勉強中です。外国人技術者が育つことで、SDGs17ゴールのうち、1「貧困をなくそう」4「質の高い教育をみんなに」10「人や国の不平等をなくそう」11「住み続けられるまちづくりを」に貢献しています。

担当者の思い

SDGsに積極的に取り組んでいることにより、学生や若者へ興味を持ってもらうことで認知度が上がります。学生の工場見学やインターンシップ受け入れにより、社員の意識高揚になるとともに、ビジネスを継続していく中で地域貢献に寄与していきます。
〈西条事業所 取締役所長 篠原 延弘〉

株式会社ベルモニー

代表者 / 代表取締役社長 武智 正晴
業 種 / 冠婚葬祭互助会
所在地 / 愛媛県松山市姫原 3 丁目 4-13
連絡先 / 089-911-0980

SDGs 達成に向けた取組み

イベントの記念品、結婚式の引き出物、
お葬式の返礼品などに地産品を採用



目的・背景

私たち株式会社ベルモニーは、地域の皆様との交わりや、地域の企業・団体様との連携というパートナーシップこそが、地元に必要なとされる「信頼される良い会社」となる大切な結びつきと考えています。

具体的な取組内容

互助会事業部が行う会員募集イベントの記念品には、県内企業が製造している地球環境に優しいリサイクル商品（ポリ袋、マスク、クラブボールペン、水切りネットなど）を取り入れています。冠婚事業部が行う結婚式の引き出物選びには地産品を採用している商品カタログを使用しており、式場のトイレにおけるアメニティには地産品を用いています。葬祭事業部が行うお葬式においても、返礼品には地元のお茶や製紙商材（のし袋）を準備しています。

成果

地元商品を用いることでお客様には安心・安全を訴求でき、式場などのスタッフからも「ご利用いただいた方には大変喜ばれている」と報告を受けています。また、購入先の地元企業とも、より良い関係性を築くことができている。

■イベントで用いられている記念品・景品
お客様が必要とされる日用雑貨を採用。水切りネットは空きペットボトルをリサイクルして製造。製造・購入先は全て地元企業にて。



■結婚式の引き出物
地元のお茶を使った商品を採用。引き出物カタログの中にも地元の商品が載っているものを採用。式場内のアメニティにも地産シルク製品を。



■お葬式の返礼品
地産品が用いられた返礼品を採用。愛媛県の新宮茶、久万茶が中心。四国中央市の製紙企業にて金封各種も採用。



担当者の思い

弊社は、令和3年3月に社内外に向けて「SDGs宣言」を行いました。もともと、愛媛・高知と2県に跨る広域なエリアで冠婚葬祭互助会を営むにあたり、それぞれの地域に密着した活動は行っていましたが、社内外に宣言してからはその考えが全社員にも伝播しています。例えば、新しい商品を選定する、新しい企業とパートナーシップを結ぶにも、必ずSDGsのどの内容でお互いが協働できるかを考えるようになりました。〈本部企画部 企画部長 生南 祐司〉

コンフォートホテル松山

代表者 / 株式会社グリーンズ 代表取締役社長 村木 雄哉
業 種 / ホテル業
所在地 / 三重県四日市市浜田町 5-3
連絡先 / 059-351-5593

SDGs 達成に向けた取組み

使い捨てプラスチック消耗品削減の取組み



目的・背景

CO₂ 排出量削減の取組みの一つとして、プラスチック使用量の削減に取り組んでいます。この取組みは令和4年4月1日に施行された「プラスチック資源循環促進法」にも対応するものであります。

具体的な取組内容

アメニティに関して、従来は、客室に歯ブラシ、ヘアブラシ、カミソリを設置していましたが、令和4年4月からは、歯ブラシの素材を再生プラスチック製に変更しました。また、ヘアブラシ、カミソリについては客室への設置を取りやめ、ロビーやフロントに専用スペースを設置し、お客様にて必要な分をお取りいただく形式に変更しました。使い捨てプラスチックについて、必要なもののみ使用していただくことで、使用量削減を目指しています。

成果

お客様1名あたりのアメニティに係るプラスチック使用量
19g → 7.25g へ削減



担当者の思い

SDGsの取組みを推進するにあたっては、社内でのSDGsの理解と浸透、思いを同じくする他社とのパートナーシップが不可欠です。お互いの長所を活かしながら、課題解決を目指す連携先とパートナーシップを強化して取組みを推進していきたいと考えています。また、当社がSDGsの取組みを発信することで、ステークホルダーにSDGsに興味を持っていただき、自分にできることへの取組みを考える機会となるよう、今後も活動の推進と発信を継続していきます。(株式会社グリーンズ 総務課 課長 奥村 陽子)

愛媛海運株式会社

代表者 / 代表取締役 西山 富士弥
業 種 / 運輸業
所在地 / 愛媛県松山市海岸通 1455-1
連絡先 / 089-951-0710

SDGs 達成に向けた取組み

緑のカーテン活動と照明のLED化



目的・背景

山九(株)主催の「緑のカーテンコンテスト」への参加を勧められたのをきっかけに緑のカーテン活動に参加し、冷房温度を昨年比+1度にすることを目標にしました。

同時期に、従業員から「外港事務所と詰所の照明をLEDへ変更したらどうか？」との改善提案を受け、CO₂削減と蛍光灯のゴミ削減を目標に行いました。

具体的な取組内容

令和4年6月上旬、「緑のカーテンコンテスト」の開催通知が届きました。

令和4年6月16日、資材を揃え、外港事務所壁や周辺に一年草の種をまきました。

令和4年7月25日、きゅうりやアサガオが順調に育ちました。

令和4年8月9日、ひまわりが満開に咲きました。

令和4年7月上旬、改善提案にて照明のLED化案を受けました。

令和4年7月中旬、社内で検討し、実行することが決定されました。

令和4年8月27日、外港事務所と詰所の照明をLEDへ変更しました。

成果

冷房温度を令和3年度まで26度に設定していましたが、緑のカーテン活動を行い、令和4年度は27度設定にすることができました。また、収穫した野菜は従業員で食べて消費できました。事務所を訪れたお客様にも緑のカーテン活動を知ってもらえました。

照明のLED化を行い、消費電力を抑えることができました(前年同月比26%減)。また、蛍光灯のゴミの発生も削減される見込みです。



担当者の思い

緑のカーテン活動は、従業員の皆様が協力し、知識を出し合って作業をしてもらいました。収穫した野菜をおいしくいただけたのも良かったです。

照明のLED化については、従業員からの改善提案であり、それを実行することができたので、会社内でSDGsの風通しが良くなるきっかけになりました。(外港事務所 田坂 誠基)

ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 松山営業所

代表者 / 所長 内田 富也
業 種 / 水道事業向けのカスタマーサービス(検針・料金徴収など)およびシステム開発
所在地 / 愛媛県松山市竹原 2-7-30
連絡先 / 089-915-0311

SDGs 達成に向けた取組み

ペーパーレスの推進



目的・背景

会議や研修の度に大量の印刷物が作成され、その後は短時間でシュレッダーされるようなものも多々ありました。用紙の無駄遣いであると感じ、可能な限りペーパーレスへシフトしました。現在は、用紙の使用枚数を減らし、環境保全に取り組んでいます。

具体的な取組内容

従業員へ紙配布していた資料・通知文などをデータ配信しています。令和4年1月よりスタートしました。

成果

令和3年 合計 約39万枚 → 令和4年11月時点 約26万枚



ペーパーレスによる研修の様子

担当者の思い

資料や文書等を紙からデータでのペーパーレスなやりとりに変更したところ、大幅な用紙の削減につながりました。また、データを使用することにより、資料の保管や取り出しについても効率化できています。この取組みの結果が出ていることで、従業員のSDGsに対するモチベーションも向上しています。
(所長 内田 富也)

みずほ証券株式会社 松山支店

代表者 / 支店長 國崎 久美子
業 種 / 証券業
所在地 / 愛媛県松山市千舟町 3-3-1 みずほ銀行松山支店1階
連絡先 / 089-921-8141

SDGs 達成に向けた取組み

みずほサマースクール



目的・背景

成人年齢が18歳に引き下げられ、選挙権に加えて様々な契約も自己責任となります。加えて日本の長期にわたるデフレ状況で資産形成は従来よりも非常に困難となると予想されており、子どもの頃から正しい金融知識を持つことが重要です。

以上を踏まえ、小学生の子どもたちを対象とした金融教育を実施しました。

具体的な取組内容

新型コロナウイルス感染症の関係上、人数制限を行い実施しました。夏休み期間に合わせた8月23日に、小学校1年生から5年生までの総勢7名を対象とし、みずほ銀行とタイアップして実施しました。みずほ銀行からは、「お金とは何だろう・お金の役割・お金の種類」などを支店長をはじめ行員が説明し、ゲームなども交えて理解を深めました。

みずほ証券からは、「証券会社って何だろう。株式会社って何だろう。投資って何だろう。」という観点から金融教育の授業を行いました。「ATMの裏側はどうなっている?」「金庫室は?」「1億円って重たい!」などの実体験ができました。そして、普段よく利用している

ハンバーガーチェーン店やファストファッション店、夢の国の遊園地、車屋さん等、日常よく利用しているお店が実は株式市場と密接に関わっていることを知って興味津々の様子でした。

成果

新型コロナウイルス感染症の影響が残る中だったので、人数制限の中での開催となりましたが、お金の仕組みを十分に理解してもらうことができました。また、詐欺事件が増えている中で、お金に対する正しい知識が必要だという警鐘を鳴らす効果もありました。



担当者の思い

持続可能な社会を作るためには、子どもの頃からの教育が重要だと感じています。現在は、学校でSDGs教育が積極的に行われていますので、環境に配慮することなどは十分な理解があると思いますが、金融機関も持続可能な社会の根幹を支えているということを知り、楽しく理解してもらえたのではないかと思います。リテラシー向上のきっかけとなれば幸いです。
(みずほ証券松山支店 支店長 國崎 久美子)

株式会社ローソン

代表者 / 代表取締役社長 竹増 貞信
業 種 / 小売業 (コンビニエンスストア)
所在地 / 岡山県岡山市北区磨屋町 10-12 交通オアシスビル 8 階
連絡先 / 086-225-5143

SDGs 達成に向けた取組み

愛媛県の「食」を応援 (県産品活用)



目的・背景

令和 4 年 7 月 26 日 (火) に、愛媛県の地元食材を利用した商品を中四国地方 1,567 店舗のローソンにて 2 アイテム発売させていただきました。

7 月 25 日 (月) に愛媛県庁を弊社商品部責任者が訪問させていただき、田中副知事にご試食とご感想をいただいています。

具体的な取組内容

㈱ローソンは、令和 4 年 7 月 26 日 (火) に、四国各県の地元食材を使用したおにぎり、ベーカリー、デザートなどの 6 品を、中四国地方のローソン 1,567 店舗 (令和 4 年 6 月末時点、山口県下関市の一部地域を除く) で発売しました。これはお客さまに、マチ (地域) の美味しさをお届けするために、“四国うまいものフェア”として行ったものです。

【ベーカリー】

ふんわり牛乳ぱん (愛媛県産タしほり牛乳使用、税込み 150 円)

【デザート】

クリームと食べるひとくちパウム (愛媛県産伊予柑果汁のソースを使用、税込み 235 円) ※山口県、島根県の一部店舗を除く

成果

ローソンは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、出荷量が落ち込んでいると伺っていた愛媛県産品の消費拡大を応援することができました。また、令和 4 年 2 月には愛媛県立小松高等学校ライフデザイン科の生徒の皆様と愛媛県産品の共同開発の取組みも実施しました。

担当者の思い

弊社内及び加盟店に持続的に環境改善につながる取組みをひとつでも対応しようという意識だけでなく、日常の節電やプラゴミ削減など具体的な取組みが進み始めていると感じています。
〈中四国エリアサポート部 マネジャー 中島 直哉〉

青木電気工業株式会社

代表者 / 代表取締役 青木 俊雄
業 種 / 建設業 (電気工事業)
所在地 / 愛媛県松山市和泉北 2 丁目 14-22
連絡先 / 089-931-1052

SDGs 達成に向けた取組み

心の健康づくり



目的・背景

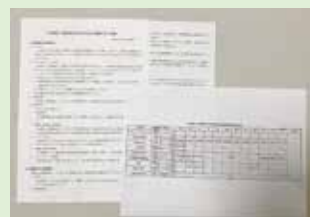
従業員の心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活のために、また事業場の生産性及び活気のある職場づくりのために重要な課題であることを認識し、メンタルヘルス不調への対応だけでなく、職場でのコミュニケーションの活性化などを含めた広い意味での健康づくりに取り組んでいます。

具体的な取組内容

令和 4 年 1 月 11 日に心の健康づくり計画を作成しました。その中で、活動方針、推進体制、目標等を示しました。心の健康づくり推進体制及び担当役割を決め、取組事項年次計画表を作成しました。計画に沿って、計画の発表、窓口の設置、産業保健総合支援センターが開催するメンタルヘルス研修への参加 (令和 4 年 4 月 15 日・8 月 18 日・9 月 16 日・10 月 5 日)、ストレスセルフチェックの実施 (令和 4 年 4 月 28 日)、毎月の会議、定期的な面談を行いました。

成果

心の健康づくりに関する教育研修・情報提供により、従業員全員が心の健康問題について理解しました。



心の健康づくり計画



メンタルヘルス研修



毎月の会議



面談の様子

担当者の思い

SDGs は、17 のゴールと 169 のターゲットが細かく設定されているため、企業は具体的に取組みやすいと思います。少しずつですが、職場環境が良くなっています。
〈総務部 代表取締役専務 片上 裕佳〉

株式会社大石工作所

代表者 / 代表取締役 大石 憲一
業 種 / 製造業
所在地 / 愛媛県新居浜市多喜浜 6 丁目 2 番 45 号
連絡先 / 0897-46-1160

SDGs 達成に向けた取組み

本社工場におけるグリーンファクトリー化プロジェクト



目的・背景

令和2年6月のSDGs宣言後、社内で意識した取組みを実施してきましたが、エネルギーに関する取組みが当社において弱点でありました。本社工場のグリーンファクトリー化を目指すべく「CO₂排出削減」をテーマに、令和4年度もエネルギー（ゴールNo.7）に関する取組みを継続的に実施しました。

具体的な取組内容

I：令和4年1月 太陽光発電稼働

グリーンファクトリー化を目指すにあたり再生可能エネルギー導入を促進、本社工場屋根に1,090枚の太陽光パネルを設置
日本のエネルギーミックス方針（経済産業省 資源エネルギー庁）における再生可能エネルギー比率向上に貢献

II：令和4年6月 電気自動車の導入

太陽光発電で生み出された再生可能エネルギーの有効活用および災害時の給電設備として電気自動車（トヨタ・C+pod）1台を導入
自動車販売会社と連携し、災害時を想定した社内給電訓練を実施

成果

I：太陽光発電の稼働により再生可能エネルギーとして「自家消費型」が構築でき、本社工場で利用する全ての電力は本設備から供給することが可能となりました。また、電気料金の削減にもつながり、前年比約6割減となりました。

II：近距離の場合は電気自動車を利用して移動することが習慣化されました。充電のためのエネルギーは、Iの再生可能エネルギーを利用しているため、排出するCO₂は完全ゼロを達成することができました。



太陽光パネルの設置



電気自動車の導入

担当者の思い

令和4年度は、社員により積極的にSDGsを身近に感じてほしいと考え、社用車の1台を電気自動車にしました。日常的に使用機会の多いツールを選んだことで、社員も積極的に活用しています。今後も現在実施中の取組みを継続するとともに、新たなアイデアを模索していきたいと思います。（総務部 担当 安宅 悠基）

東武トップツアーズ株式会社 松山支店

代表者 / 支店長 上田 護
業 種 / 旅行業
所在地 / 愛媛県松山市三番町 4 丁目 11-6-2F
連絡先 / 089-941-9231

SDGs 達成に向けた取組み

① 脱炭素の取組み ② 地方創生の取組み



目的・背景

①日本の観光業界の脱炭素の取組みを加速すべく、旅行におけるCO₂排出量を可視化し、脱炭素に向けて取組み、持続可能な観光業の発展を目指します。

②旅行を通じて地域を元気に、そして地域の課題解決に向けた提案と施策の推進に取り組めます。

具体的な取組内容

①旅行におけるCO₂排出量を可視化できるツール「Decarbonising Tourism System (DTS)」を開発しました。会計情報から宿泊施設などの観光事業者のCO₂排出量について可視化することを実現し、また、より環境負荷の低い旅程を提案することを通じ、観光業者が脱炭素に向けて取組み、持続可能な観光業の発展を目指しています。

さらに、大阪・関西万博に向けて、一般社団法人ゼロカーボンファンデーションと協力し、脱炭素化社会実現に向けた取組みを果たしていきます。（令和4年10月11日）

②徳島県上勝町と協力し、令和元年に同町の取組みを紹介するスタディツアーを企画実施し、令和3年には経済産業省のスマートシティ

事業や農林水産省の農泊事業を行うなど、同町と連携した取組みを進めてきました。今後も同町のより一層のDX化の促進と、視察研修先としての商品開発やプロモーション実施を通じて、同町にさらなる賑わいを創出していきます。

成果

①9月22日～25日に東京ビッグサイトで開催された「ツーリズムEXPO ジャパン 2022」の当社出展ブースにDTSのサンプル展示をし、観光事業者への情宣に努めました。今後、DTSを活用し、観光事業者に対してはCO₂排出量算定を実現することで意識を高め、CO₂削減への取組みを加速させ、お客様にはCO₂削減への取組みを自分ごと化していただき、脱炭素社会の実現に取り組めます。

②当社の地方創生への取組みは「デジタル田園都市国家構想応援団」の取組みとも相まって、山形県、和歌山県、全国へと広がっています。

担当者の思い

会社としてはSDGsへの取組みが、DX化推進と相まって、大いに活動できているのですが、愛媛県内の松山支店、新居浜支店としては、松山市、新居浜市のSDGs推進協議会活動に参加する活動のみで、県内支店独自で具体的に何もできていません。令和5年度こそは県内支店から発信できる活動をしたいものです。（松山支店 営業担当部長 門屋 博文）



①西日本電信電話株式会社 四国支店
 ② NTTビジネスソリューションズ株式会社 愛媛ビジネス営業部
 ③株式会社 NTT フィールドテクノ 愛媛設備部

代表者 / ①四国支店長 立石 篤志
 ②愛媛ビジネス営業部長 中山 敦広
 ③愛媛設備部長 加藤 信二
 業 種 / 電気通信業、その他付帯業務等
 ビジネスユーザーに対する情報通信シ
 ステムの提案、構築、サポート等業務
 所在地 / 愛媛県松山市一番町4丁目3番地
 連絡先 / 089-936-2846

SDGs 達成に向けた取組み

NTT 環境グリーン作戦 2022
 in 愛媛



目的・背景

NTTグループではCSR活動およびSDGs活動の推進として、地域への社会貢献ならびに環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

具体的な取組内容

近年の熱波や豪雨等の気候変動問題をはじめとした環境課題解決への貢献に向けて、NTTグループでは2040年までにカーボンニュートラルの実現を目指しています。

その取組みの一環として、令和4年12月10日(土)に、NTTグループ各社の社員や退職者による落ち葉集めをメインとしたボランティア清掃を道後公園で実施しました。

回収した落ち葉をゴミとして処分するのではなく、「落ち葉囲い」という専用スペースで腐葉土に変えて森に還元することで、湯築山の環境保全に貢献しています。

※令和3年12月4日(土)も実施しています(参加者数175名)。

成果

NTTグループ全体で219名の方に参加いただきました。

NTT環境グリーン作戦2022 in 愛媛の活動では湯築山の環境保全への貢献に加え、社員一人ひとりが、環境問題に対して自分たちに何が出来るか考える機会となり、SDGs17のゴールのうち13「気候変動に具体的な対策を」、15「陸の豊かさを守ろう」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」に貢献しています。



担当者の思い

SDGsを推進していくためには、社員の理解促進、意識の醸成が最も重要だと考えています。そのためには、社内での研修や定期的な情報発信等による日々の積み重ねが非常に大切なことだと思います。また、それに加えて本取組みのように社会や環境に自らが貢献できているということを社員に実感してもらえる場を創っていくことで、社員へ気づきを与えたり、意識醸成を図っていく一つのきっかけにつながってほしいと思います。

〈事業推進担当 課長 萱野 栄二・総括担当 課長 須山 貴之〉

大王製紙株式会社

代表者 / 代表取締役社長 若林 頼房
 業 種 / 紙・板紙・パルプ及びその副産物の製造加工並びに販売 他
 所在地 / 愛媛県四国中央市三島紙屋町628
 連絡先 / 0896-23-9001

SDGs 達成に向けた取組み

奨学ナプキン



目的・背景

コロナ禍において、経済的な理由から生理用品を購入できない「生理の貧困」が社会問題として顕在化しており、女性の健康や尊厳にかかわる重要な課題となっています。当社の生理用品ブランド「elis」は、多様性のある社会でひとりひとりの生理に寄り添うプロジェクト「meet my elis」の一環として、「だれかではなく、あなたのそばに。」のメッセージのもと、「生理の貧困」に着目しました。

具体的な取組内容

令和4年4月、これからの未来を支えるZ世代、学生の“生理”に関する不安を少しでも和らげるため、さまざまな理由から生理用品の入手が困難な生理のある全ての学生を対象に、生理用ナプキンを1年間無償でプレゼントする「奨学ナプキン」を開始しました。応募はアンケートフォームから学校生活で生理に困っていることや生理用品の使い心地や悩みなどの質問に回答していただき、アンケート選考の上、奨学生を決定しました。奨学生に選ばれた方には4ヶ月分の生理用ナプキンを3回に分けて、郵送で送付。奨学生の方には、ナプキンを使った感想や生理の悩みについてのアンケート協力を期間中2回お願いし、いただいたリアルな声を活かして、より多様なニーズに応えた商品を

提供したいと考えています。

成果

募集を開始するとSNSで話題になり、twitterでは約1万件の「奨学ナプキン」投稿が寄せられ、定員1,000名に対し、応募数が9,000名を超えるという切実な状況を受け、奨学生を2,000名に増員しました。奨学生からは、「ナプキンの枚数を気にせず使えることで心の余裕が生まれた」といった声もあり、より自分らしい毎日を過ごせるようになった方が増えたのではと考えます。



担当者の思い

奨学ナプキンの取組みを行う中で、多くの方に賛同やご意見をいただき、反響の大きさに大変驚きました。生理は個人差も大きく、プライベート性が高いため、今後もelisは多様性を大事にするブランドでありたいと思っています。

〈H&PCブランドマーケティング部フェミニンケアグループ 課長 海堀 真由〉

株式会社中温

代表者 / 代表取締役社長 大澤 邦夫
業 種 / 食品製造業
所在地 / 愛媛県松山市小栗 1 丁目 2-28
連絡先 / 089-943-5211

SDGs 達成に向けた取組み

私たち『中温』にできること



目的・背景

ISO22000 の認証取得に向けた取組みの中で、企業の目的は、利益追求だけではなく、環境、資源、地域の人々、取引先、従業員等すべてに配慮していくという企業の社会的責任を自覚しました。

CSR (社会的責任) = SDGs の考え方ととらえ、今、できていること、今からしなくてはならないこと、今後、取り組まなければならないことを社内で話し合いました。

具体的な取組内容

①雪温冷蔵システムによる庫内温度 (1℃±0.5℃) の安定、高湿度による消費期限延長でフードロスの削減・配送コストの削減。

②鯛の不可食部分 (中骨、中落ち、腹骨部分) を利用した商品開発。

③剥離後の栗の渋皮部分 (ポリフェノール) を健康食品素材に。

④農業に参入し、生産、加工を行い、食の確保に努める。また、農業生産のボトルネックの改善。

⑤女性活躍推進法に則り、女性が職場で活躍で



③栗渋ポリフェノール



④里芋を自社生産

きるよう整備推進を進める。

⑥食品残渣はたい肥にする。リサイクル率 100% を目指す。

⑦省エネルギーに努め、LED を早くから取り入れ、電気利用のスマートウォッチにより、電気使用量の削減に努める。

成果

①②③⑥⑦に関しては、以前から取り組み、現在進行形で実行し、結果が出ています。特に、令和 4 年度は、④の農業本格参入、⑤の女性活躍推進法と新たな取組みを増やし、結果を残すことができました。今後は、さらにこの取組みを充実させ、当社だけでなく、取引先、地域ともしっかり連携してさらなる目標を立て、SDGs に努めていきます。



津吉工場空撮

担当者の思い

製造業は、電気、重油等、エネルギーを大量消費する業種です。新たな工場を建設するということが、省エネルギー化の真逆の行為にあたります。そのジレンマを抱えつつ、私たち『中温』に何ができるのか? 現在取り組んでいること以上に、さらなる省エネルギー、環境対策、地域貢献等を考えていかなくてはならないと考えています。今後も、SDGs に真摯に取り組んでいきたいと思っております。(専務取締役 大澤 寿美子)

四国加工株式会社

代表者 / 代表取締役 鎌倉 大志
業 種 / 製造業
所在地 / 愛媛県新居浜市船木 4986-1
連絡先 / 0897-44-7337

SDGs 達成に向けた取組み

森林・林業・木材産業界及び業界外とのパートナーシップ構築の取組み



目的・背景

多面的機能を持つ森林は、SDGs の様々な目標に貢献します。将来にその森をつないで持続させるためには、森林から生み出される恵みを森林の整備・保全に還元させて「持続可能な大きな循環」を作り出すことが不可欠です。

そこで、消費者に近い我々木工業者が、林業者と社会とのつなぎ役、また他業界との橋渡し役として貢献することで「植える・育てる・利用する・植える…」の循環を、社会も含めた大きな輪にできればと考えました。その達成に向けて、今後は「パートナーシップで目標を達成する」を念頭に業務に取り組まれました。

具体的な取組内容

1: 愛媛県内子町で森林と林業に新しい風を吹き込むべく精力的に活動を行っている「武田林業」様と新たなつながりを作りました。武田林業様の商品である「ヒノキの消臭スプレー」を弊社オンラインストアで販売。商品のページでは、武田林業様の取組みや、森林・林業・木材の力などをアナウンス。商品のストーリーを通して森林や木材の価値や魅力を伝え、社会と山との接点を作っています。< R4 年 5 月 ~ >

2: 愛媛県久万高原町で夫婦で林業を営む「管林業」様との直接的なつながりを生かした製品開発に取り組まれました。林業者と木工業者が直接パートナーシップを築くことはごく稀であり (一般的には市場等が仲介)、新たな関係の中で生まれる製品を通して消費者に林業者の生の声を届けることを目的とした事業を進めています。< R4 年 8 月 ~ >

3: 新居浜市のフラワーデザイナー「ラシーヌ」様と新たなパートナーシップを構築しました。弊社で製作したヒノキのアートフラワーを使用したリースの作成を依頼し、商品化。他業界とのつながりで木材の新たな可能性を開き、木材の魅力を発信することで森林・林業・木材産業の社会的認知度アップに貢献しました。< R4 年 10 月 ~ >

成果

我々木工業者は最終製品を製造するため、エンドユーザーと直接的なつながりを持ちます。一方、素材生産が業務である林業従事者は、森林管理という重要な役割を持ちながらも一般と触れ合う機会が少なく、社会との距離を縮めることに苦慮しています。そこで、我々が直接林業事業者とつながって木工品の製作・販売を行い、林業者の思いや森林の意義を消費者に伝える橋渡し役となりました。この取組みによって、17「パートナーシップで目標を達成しよう」を実現できました。

担当者の思い

森林及び木材利用は、カーボンニュートラルの実現に貢献するものとして、大きな役割を果たすことが期待されています。そんな中、木材を扱う我々は、日頃の業務が SDGs に直接関わっているという意識を常に持っておく必要があると考えます。

今回、「木材」側の我々が「森林」側の事業者と直接つながって事業を行う中で、これまで以上に「森林」に関わる人の思いを受け止められ、そうした思いを多くの人に伝えるという自分達の役割とその重要性を再認識できました。今回の取組みは、今後の「つくる責任・つかう責任」達成へのモチベーションアップに大いに効果があると考えます。今後も「パートナーシップで目標を達成しよう」に関わる取組みを続け、SDGs に貢献できるよう尽力します。(企画製作営業部 鎌倉 真澄)

有限会社田中総業

代表者 / 代表取締役 田中 徹
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県松山市小村町 71-1
連絡先 / 089-993-6901

SDGs 達成に向けた取組み

愛ロード・愛リバーを通して 環境保護活動と文化交流



目的・背景

地域を綺麗にすることで、地域に住んでいる方や道を通る方が住みやすく通りやすい環境づくりをしています。清掃を通して技能実習生や特定技能実習生の社員とのコミュニケーションを図り、自分たちが住んでいる地域を綺麗にするという意識を高め、自国に帰った後も環境保護活動を継続してもらうことで、全世界的な SDGs につながると考えて取り組んでいます。

具体的な取組内容

愛ロードは年に3回実施しており、1回目は「道路ふれあい月間」の令和4年8月27日(土)、2回目は11月12日(土)、3回目は令和5年の4月8日(土)に予定しています。通学路でもある松山三坂線約1.5kmの歩道を草引きや清掃しています。

愛リバーは年に2回実施しており、1回目は令和4年7月21日(木)、2回目は9月10日(土)に実施しました。一六本舗本社工場から久谷支所までの約600mの間の御坂川を清掃しています。

その他にもゴミの分別の徹底や現場で出る産業廃棄物を適切に廃棄するなど、普段当たり前にやっているごみ捨ての習慣の指導と見直しな

どを行い、適切な廃棄方法を社内全体で周知しています。

成果

仕事以外の作業を一緒に行うことで、いつもと違うコミュニケーションが生まれ、より一層仲が深まったことにより、お互いにSDGs17のゴールのうち10「人や国の不平等をなくそう」に貢献したと感じています。年に5回という少ない機会ではありますが、毎回ゴミ袋が6~9袋程になっています。短期間だけでも川や道路が綺麗になったことで、SDGs17のゴールのうち11「住み続けられるまちづくりを」と15「陸の豊かさを守ろう」にも貢献しました。



担当者の思い

弊社が行っていることはとても小さなことかも知れませんが、世界が目指す17の目標に1つでも多く貢献できたらという思いで業務中も業務以外でも会社全体で取り組んでいきます。
〈総務部 水木〉

株式会社建設マネジメント四国 松山営業所

代表者 / 営業所長 兵頭 英人
業 種 / 土木関係建設コンサルタント・補償関係コンサルタント
所在地 / 愛媛県松山市土居町田 53-1
連絡先 / 089-994-5531

SDGs 達成に向けた取組み

社会貢献活動



目的・背景

経営理念である「四国の未来をつくるお手伝い」を基本に、各種団体等が実施している地域での自立的・持続的発展に向けた活動等を支援する取組みを行っています。

具体的な取組内容

- ・「特定非営利活動法人パラワク」に対し、令和4年4月の年度当初に**資金的支援を実施しました**。当該団体では、パラアスリートの活動などを広く一般に情報発信し、活動環境の充実や就労支援などパラアスリートの社会的自立を支援するため、個人・団体の会員を募集し、その会費や寄付金等により事業を実施しています。障がい者との共生社会実現に向けた取組みとして、支援することとしました。
- ・愛媛大学の学生などを中心とした学生防災士で構成する「防災リーダークラブ」に対し、年度当初の令和4年4月に**資金的支援を実施しました**。当該団体は、自主防災組織の防災訓練、避難訓練及び勉強会に参加し、地区防災計画の作成に関与するとともに、小・中・高生を対象とした防災教室等を通じ、地域の防災意識の向上や防災活動の拡大に積極的に取り組んでいることから、支援することとしました。
- ・「とべ動物園」では、個人や企業から寄付を募る「**動物サポーター制度**」

を導入し、地域の資源である動物園を身近に感じてもらい、動物園の活性化に取り組んでいます。地域資源を利用した地域づくりを支援する取組みとして、令和4年4月の年度当初に**資金的支援を実施しました**。

成果

- ・パラワク主催のパラアスリートテニス大会の賞金に支援金が充当されるとともに、ポスター等に協賛社名やロゴが掲載され、3「すべての人に健康と福祉を」の活動に貢献し、広くPRできたものと考えています。
- ・防災リーダークラブは、児童、生徒、自主防災組織の防災意識や防災活動の向上に貢献しており、これを支援することにより、学生の活動意欲のさらなる増大等につながったと考えています。
- ・動物サポーターとしては、地域の資源である動物園の活性化に貢献し、弊社の取組みを広くPRできたと考えています。

担当者の思い

登録初年度における社会貢献等の取組みとして、パラアスリートを支援している団体、地域防災活動を実施している団体及び動物サポーターとして、各団体に資金的支援を行った結果、社会貢献等を実施していることが社内でも共有されるとともに、社会貢献等に取り組んでいる企業として、広く知っていただける機会となりました。〈松山営業所 副所長 山田 久男〉



損害保険ジャパン株式会社 愛媛支店

代表者 / 取締役社長 白川 儀一
業 種 / 損害保険業
所在地 / 愛媛県松山市千舟町 4-6-3 アヴァンサ千舟 5 階
連絡先 / 089-943-1917

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 理解促進のための当社独自 カードゲームの作成、実施



目的・背景

SDGs とは何か、何を取り組むのが良いか、「SDGs」と謳うだけで中身を理解していない方や企業も多いと思いますので、SDGs とは何かを理解できるよう当社はカードゲームを作成しました。(名称：The Action!～SDGs カードゲーム～) このカードゲームを活用し、企業や自治体の職員向けに愛媛県内でも複数回実施をしています。

具体的な取組内容

年度始めの 4 月から 10 月末時点で愛媛県で計 5 回のカードゲームを実施しています。

- ①令和 4 年 6 月 17 日(金) 愛媛県主催 SDGs 普及啓発セミナー内にて参加企業に対し、カードゲームを実施 場所は中予地方局 7 階大会議室にて実施
- ②令和 4 年 9 月 25 日(日) 宇摩自動車教習所にてカードゲームを実施 12 名の参加で小学生のお子さんも参加
- ③令和 4 年 9 月 28 日(水) 四国中央市のボランティア市民活動センターにてボランティア事業に関わる方 17 名に対し、カードゲームを実施

④令和 4 年 10 月 19 日(水) 四国中央市の自治体新規採用職員 39 人にカードゲームを実施 SDGs を理解してもらおう一方で、職員同士のコミュニケーションの促進も図った

⑤令和 4 年 10 月 27 日(木) 西条市といよぎん地域経済研究センターと当社の連携で西条中央病院にて開催 28 名の方を対象に実施した

成果

愛媛県(主に東予地方)にて SDGs の理解の促進を行うと同時に、企業や自治体内外でのコミュニケーション促進を行うことができました。上述しましたが、このカードゲームは小学生の方から会社役員の方まで幅広い年齢で楽しくコミュニケーションを取ることができ、楽しみながら SDGs とは何かを理解いただけるかと思えます。参加いただいた方が各々の土俵で SDGs に向かって取り組んでいたことが最大の成果だと認識しています。

担当者の思い



SDGs 推進の中で、強く感じているのは SDGs への取組みがゴールになってはいけないということです。あくまでゴールは持続可能な社会を作ることであり、目的と手段の混同をしては、短期的な目標になってしまうと思えます。10 年後、より良い社会の実現ができるよう小さな種からこつこつと、皆で協力して蒔いていければと思います。(愛媛支店法人支社 清永 渉馬)

白石建設工業株式会社

代表者 / 代表取締役 白石 尚寛
業 種 / 総合建設業
所在地 / 愛媛県新居浜市久保田町 3 丁目 9 番 20 号
連絡先 / 0897-33-4812

SDGs 達成に向けた取組み

自動販売機の設置で様々な支援への 取組み



目的・背景

小さなこと、できることから SDGs の取組みを始めようと社内でも取組みについて検討していたところ、公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」及び「子ども食堂支援」をご提案いただきました。こちらは SDGs の 17 の目標の 15「陸の豊かさを守ろう」及び 2「飢餓をゼロに」という取組みに一致し、早速現場事務所及び本社へ自動販売機の設置を開始しました。

具体的な取組内容

この取組みは、ダイドードリンコ株式会社様のご協力のもと、募金機能付き飲料自動販売機(以下、自販機)を設置し、売上の 3% を寄附することができるというものです。現場事務所内設置の自販機分の寄附先である公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」は、広葉樹の植栽などの森林整備や身近な環境の緑化活動、自然愛護活動(緑の少年団の育成)などさまざまな緑化活動に役立っています。森林づくりをすることで地球温暖化防止にもつながると考えます。こちらの自販機は令和 3 年 7 月から設置を開始しました。令和 4 年 8 月には、本社へも自販機を設置し、こちらの売上の 3% は新居浜市社会福祉協議

会に登録をされている 8 つの子ども食堂へ寄附をさせていただく予定です。また、本社に設置した自販機は災害救援自販機となっています。普段は通常の自販機として使用しますが、災害等で停電になった際には、自販機内の商品を無料で提供することができる自販機です。災害の発生によりライフラインが寸断されてしまった場合、ライフラインの復旧や支援物資が届くまでの期間、災害救援自販機は一時的に飲料を提供するインフラとしての役割を担うことができます。災害大国である日本にとっては欠かせない設備の一つだと考えます。

成果

主に現場事務所内に設置している自販機からの寄附は令和 3 年 7 月～令和 4 年 3 月までで 21,619 円を公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」へ寄附しました。本社設置分は令和 4 年 8 月～11 月までで 4,639 円を「子ども食堂支援」へ寄附する予定です。令和 4 年度は取組開始から 1 年に満たないので、今後は年間の寄附額を維持、それ以上へ増やせるように努力していきたいです。

担当者の思い

SDGs 全体を通して見ると大業を成し遂げるような項目ばかりで難しいように感じていましたが、小さなことから実際に何ができるかを考えて実践してみることが SDGs にとって重要な第一歩であり持続可能な目標だと感じました。(総務部 村上 菜奈美)

重松兄弟設備株式会社

代表者 / 代表取締役 清水 盛士郎
業 種 / 管工事業
所在地 / 愛媛県松山市谷町甲 78 番地 1
連絡先 / 089-978-2011

SDGs 達成に向けた取組み

安全で快適な職場づくり



目的・背景

少子高齢化による後継者不足が深刻と考え、従業員の平均年齢が徐々に上がってきている中で、従業員の健康や安全確保に取り組むことで、生産性の向上や組織の活性化につなげ、誰もが働きやすく快適な職場環境づくりを図りました。

具体的な取組内容

SDGs 推進を社内に浸透させる取組みとしまして、

- ①令和3年度より、健康診断受診時に一部男性社員・女性社員のオプション検査を会社負担にしました。
- ②今まで勤怠はタイムカードで管理していましたが、一人ひとりの生産性と時間外労働削減及び有給休暇取得率向上のため、令和3年6月から勤怠管理システムを導入し、試用期間を経て令和3年11月から本格運用を開始しました。
- ③女性活躍推進における観点から、女性が活躍できる場の提供を推進しており、令和4年4月で3名の女性社員が昇進、8名の内5名が管理職です。



成果

オプション検査を会社負担にすることにより、従業員の健康に対する意識を高めるだけでなく、病気の早期発見・治療へとつなげることができ、自身の健康状態をより詳しく知る機会が増えました。また、勤怠管理システムを導入することにより、時間外労働が見える化され前年との半期比較で5%削減できました。これにより当社の掲げている8「働きがいも経済成長も」に貢献できました。

担当者の思い

ただ単にSDGsに参加するのではなく、取り組むことで会社の社会的価値・社会への影響力を高めることができると感じました。以前に比べると、社内の職場環境であったり社外からの興味が向上していると実感できます。今後も社会と共に成長する取組みを推進していきたいです。(総務部 上田 耕平)

住友生命保険相互会社 新居浜支社

代表者 / 支社長 武田 康宏
業 種 / 生命保険業
所在地 / 愛媛県新居浜市北新町 9-16
連絡先 / 0897-37-1133

SDGs 達成に向けた取組み

地域に根差した保険事業による 県民の健康寿命の延伸



目的・背景

当社がお客さまにご提供している商品『住友生命「Vitality」』は、従来の保険が持つ「リスクに備える」という目的と同時に、「リスクそのものを減らす」という目的も備えています。その『住友生命「Vitality」』を多くの県民の方々に知っていただくとともに、実際にご加入いただくことで健康増進活動を習慣化していただき、健康寿命の延伸を実現していただくことを目指しています。

具体的な取組内容

まずは新居浜支社で作成した「地域貢献チラシ」にて、愛媛県民の健康寿命、生活習慣病等の状況が全国的に比較すると劣位にあり、改善が必要である旨を多くの県民の方々に周知いただいています。その上で、ご自身の健康状態を把握し、「歩く」等の運動習慣を身につけることで、健康に近づいていく旨も各種のチラシ等でお伝えしています。

さらに、実際に『住友生命「Vitality」』の健康増進プログラムを体験いただける「体験版」をご案内し、健康増進に楽しみながら取り組む体験をしていただきます。

そういう県民の皆様の中で、『住友生命「Vitality」』に共感いただいた皆様に『住友生命「Vitality」』を提供させていただき、ご加入後も健康増進活動のフォローをさせていただくことで、県民の皆様の健康寿命延伸に寄与していきます。

成果

(愛媛県のみではなく全国でのデータ)

当社契約にての比較ですが、販売3年の結果として

死亡率が約40% (災害死亡は除く)、入院率が約10% (災害入院は除く)

「Vitality」が非「Vitality」より低いというデータが出ています。

担当者の思い

愛媛県の健康寿命や生活習慣病の状況を一人でも多くの県民の方々に知っていただき、楽しみながら健康増進活動に取り組んでいただきたいと考えています。
(マーケティング開発部長 池田 真二)

株式会社日浅

代表者 / 代表取締役 日浅 則仁
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県今治市立花町 2 丁目 3 番 9 号
連絡先 / 0898-32-4133

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 的 職人の技と先端技術の共有



目的・背景

生活インフラの整備になくてはならない建設業として、少子化に伴う技術者不足、長年の経験と知恵を持った職人の高齢化を見据え、ICT や DX の先端技術を取り入れ「働きがいとやりがい」のある建設業を目指し、労働生産性の向上を進めていくことを最終目的に取り組みんでいます。

具体的な取組内容

ICT に対応した重機にマシンコントロール機能を導入し、三次元データを入力することによって、経験の浅いオペレーターが操作のサポートを受けることができます。

SDGs の取組みにおいて、ICT 機器の増大を目標に掲げたことで「ひめ建新聞」より取材を受け、写真の掲載でアピールができました。現場の作業だけでなく、事務所でのパソコン作業に時間を取られていた技術員に DX の技術を活用し、専門カメラにより現地に赴かなくても工事の進捗状況を確認することができるようになりました。従来、工事の詳細な内容を記載した黒板を使用し、現場状況の写真撮影を行っていましたが、電子黒板システムを導入することで、スマホ

1台で作業が完了し、作業時間が大幅に短縮されるようになりました。近年、各地で起こっている災害に対応するため、現場確認用のドローンを導入しました。土砂崩れ現場や崩落現場の危険箇所において、遠隔操作により被災状況を確認することができます。作業現場においても、現場全体の状況把握、完成した現場の写真を上空から撮影することができます。

成果

ICT を先に導入し、活用していく中で、実際に現場で作業をする社員からの提案で DX の技術を取り入れることを決めました。オンラインによってできることが増えたことで、大幅に時間を短縮することが可能となりました。社員一人一人が技術の習得に積極的になり、SDGs の 8 「働きがいも経済成長も」、9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」に貢献しました。

担当者の思い

SDGs の目標に弊社の活動を当てはめるのではなく、活動自体が既に SDGs の目標となっていることを知り、地域社会へ貢献しているといった意識が高まっています。11 「住み続けられるまちづくりを」を通して、今後も目標の達成に向けて貢献していきたいと考えています。(総務 吉住 洋美)

愛媛トヨタ自動車株式会社

代表者 / 代表取締役 横田 知明
業 種 / 自動車販売
所在地 / 愛媛県松山市宮田町 109 番地の 1
連絡先 / 089-941-5171

SDGs 達成に向けた取組み

『災害時における外部給電可能な車両からの電力供給の協力に関する協定』締結後の実行性を向上するための取組みについて



目的・背景

令和 4 年 2 月 9 日に愛媛県と愛媛県オールトヨタ販売店は、災害時における避難所等での電力供給のため、県からの要請で外部給電可能な車両を無償で貸与する等の協定を結びました。当社は幹事会社として「本協定を形骸化させない」との強い思いのもと、協定のゴールとして「実効性を向上させる」取組みを愛媛県オールトヨタ販売店と連携して行いました。

具体的な取組内容

- 『給電車両への常時搭載物を全車統一化』(R4.7.1)
要請があった場合、円滑に派遣すべく以下を全車常時搭載しました。
・電源タップ・充電ケーブル・タイヤストッパー・延長コード・給電中マブネット
- ・AC 電源使用説明書・緊急通行車両事前届出済証 (警察署発行)
- 『災害発生時の給電車派遣フローおよびマニュアルの作成』(R4.8.20)
想定されるシーンに応じて、自治体と販売店が災害発生時の具体的な動きをイメージできるようにしました。(どの順序で、誰が、誰に、どんな手段で、何をするか)

- ① 平時の準備事項 ② 自治体からの派遣要請前 ③ 派遣要請後 ④ 給電車使用中 ⑤ 復旧後の手順についてまとめました。
- 『通れた道マップの活用提案』(R4.8.20)
デジタルも活用し、必要な時に必要な場所へ迅速な派遣を目指しました。
- (通れた道マップとは)
- ・トヨタ自動車が WEB 上に公開している災害発生後の通行実績をリアルタイムで表示しているマップです。
 - ・販売店間で派遣可能な給電車両情報 (位置・燃料残量など) をマップ上で公開・共有することで、迅速な派遣が可能になります。

成果

- 給電車両への搭載物統一とマニュアルの作成により、有事の際円滑に給電車を派遣できる体制が整いました。
- 令和 4 年 9 月 19 日に愛媛県に台風 14 号が到来し、南予地方の一部に停電が発生しました。この状況を訓練と位置づけ、各社に給電車両派遣の準備を依頼。実際に愛媛県からの要請はありませんでしたが、対象車両 45 台のうち、23 台が派遣可能となるなどの実績ができました。

担当者の思い

私たち愛媛トヨタは、「幸せを、乗せて。」をテーマに事業活動を通じて社会に価値を提供し、持続可能な幸せづくりと地域社会の発展に貢献したいと考えています。
(まちいち活動支援室 課長 三好 弘二)

株式会社山全 愛媛営業所

代表者 / 所長 牛尾 研太
業 種 / 総合建設業
所在地 / 愛媛県西条市朔日市 781-10 マルイビル1階
連絡先 / 0897-47-1670

SDGs 達成に向けた取組み

「建設現場発」カーボン・オフセットを通じた持続可能な開発目標 (SDGs) への取組み



目的・背景

株山全は、一般土木工事・特殊工事・建築工事など、幅広く建設工事を手掛けている総合建設業です。ISO14001 を取得し、「自然とのバランスを保ち、未来へ夢を育む」をコンセプトに、自然環境とのバランスを考えた工事の施工を提案しながら CO₂ 削減に重点を置いた環境配慮経営に取り組んでいます。具体的な取組みとして、ハイブリッド重機の積極的な活用や、山間部の工事現場から切り出された地元産の間伐材をログハウスとして有効活用した「らく〜だハウス」の開発、さらには、工事現場で使用した重機から排出された二酸化炭素の排出枠を購入するカーボン・オフセットの実施等を行ってきました。

具体的な取組内容

弊社愛媛営業所として、ひめボス事業所 plus⁺ 認定取得や愛媛県 SDGs 推進企業登録、2050 年脱炭素社会・アクション宣言登録を行い、幅広い観点から SDGs 達成に向けて取り組んでいます。最近の取組みとして、独立行政法人水資源機構池田総合管理所発注工事の「富郷ダム瀬井野地区地下水排除工工事」で集水ボーリング施工時における主要機械（クローラクレーン）から排出された二酸化炭素の排出枠を購

入し、CO₂ カーボン・オフセットを実施しました。(令和4年5月13日)

成果

間伐材を有効活用した現場ハウスと工事看板の使用、ハイブリッド重機の積極的な活用とカーボン・オフセットの組み合わせなどにより、建設工事現場で発生する CO₂ 排出量を実質ゼロとしています。



担当者の思い

弊社は主に災害復旧工事や災害対策工事を請け負っており、自然環境の変化による山間部の災害現場を数多く見てきました。私自身も防災士として、後世の人々が安心して暮らせる環境づくりのために、一人ひとりが始められる持続可能な取組みを伝えていきたいと思っています。(SDGs 推進室 室長 猪森 淳)



株式会社建設マネジメント四国 大洲営業所

代表者 / 所長 森本 修三
業 種 / 建設コンサルタント
所在地 / 愛媛県大洲市若宮 427 番地 6
連絡先 / 0893-57-6610

SDGs 達成に向けた取組み

- ・大洲喜多剣道優勝大会及び八幡浜レスリングクラブへ助成
- ・河川敷の植栽会、道路クリーンウォーク、肱川流域一斉清掃に参加
- ・電気自動車導入
- ・ペーパーレス化推進



目的・背景

- ・青少年の健全な育成
- ・地域活動へのボランティア参加
- ・エネルギーのグリーン化
- ・森林資源の持続可能な管理と活用

具体的な取組内容

- 第 61 回 大洲喜多剣道優勝大会 (7 月 17 日開催) の開催費用の一部支援
- 八幡浜レスリングクラブへの支援
コロナ禍により、リモート練習を実施するために、環境機器の一部 (モニ



大洲喜多剣道優勝大会

ター、ケーブル類等) の購入を支援

○地域活動へのボランティア参加

- ・6月2日(木) お花はん植栽会(ひまわり)
- ・8月8日(月) 88 クリーンウォーク
- ・10月22日(土) 肱川流域一斉清掃
- ・11月10日(木) お花はん植栽会(菜の花)



6月お花はん植栽会

○電気自動車の導入(令和4年3月)

○ペーパーレス化

- ・会議におけるタブレット使用による資料の電子化
- ・稟議の電子化



88 クリーンウォーク

担当者の思い

支援やボランティア参加について、地域の方や開催担当者の方々から感謝の言葉等をいただき、会社のイメージアップにつながったと思われます。今後も微力ながら継続していきたいと考えています。(大洲営業所長 森本 修三)

株式会社 ONE'S STYLE NISHIKAWA

代表者 / 代表取締役 岡崎 秀悟
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県四国中央市上分町 328-5
連絡先 / 0896-22-4122

SDGs 達成に向けた取組み

ZEH (ゼロエネルギー住宅) の推進



目的・背景

【7.2 世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる】ために。

新築住宅をご提案する際に、太陽光発電システム搭載のお家をご提案し、ZEH 住宅を推進することで、地球温暖化対策法にかかる家庭部門(住宅)における省エネルギー施策目標の実現の一助となれるよう取り組んでいます。

具体的な取組内容

社屋建設の際にも、太陽光発電システムを搭載し、屋間会社で使う電気は太陽光で発電したもので賄えるよう考えました。メインで使用する社用車も電気自動車 (NISSAN LEAF) を選び、社屋で発電した電気で屋間に充電して使っています。

新築住宅ご提案の際には、高気密・高断熱を実現するスーパーウォール工法を採用し、C 値 (気密性能を表す値) 0.3 以下 (全棟気密測定)、UA 値 (断熱性能を表す値) 0.46 以下を目指すことで省エネ性能の高いお家をご提案しています。

特に令和4年度は ZEH の推進にも力を入れ、太陽光を搭載した場合のシミュレーションや費用対効果、エネルギーがどのくらい削減でき

るのかなどを計算し、お客さまにご提案をしています。

成果

社内にも HEMS (電気機器の使用量や稼働状況を把握し、電力使用の最適化を図る仕組み) を設置することで、今どのくらい発電してどのくらい電気を使っているのかということがスタッフの節電意識を高めています。

令和4年度前半 (9月まで) にお引き渡しをしたお家のうちゼロエネルギー住宅の割合は2割程度でしたが、令和4年度後半 (10月以降) お引き渡し、またはお引き渡し予定のお家は 100%太陽光搭載または搭載予定のゼロエネルギー住宅となっています。省エネと創エネによってお客さまの住まうお家で消費するエネルギーを実質ゼロにすることができます。

担当者の思い

地球温暖化防止のために、令和2年からゼロエネルギー住宅を推進する国の方針を受けて、時代を先取りする取組みも実施。健康で環境にやさしい家づくりを進めています。具体的には、高気密・高断熱を実現する「スーパーウォール工法住宅」を推奨し、20年後には資産として価値がなくなるといわれている現代の住宅に一石を投じ、親から子、子から孫へ住まい継ぐ家づくりを目指しています。〈代表取締役 岡崎 秀悟〉



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 愛媛支店

代表者 / 愛媛支店長 林 純一郎
業 種 / 損害保険業
所在地 / 愛媛県松山市宮田町 108
連絡先 / 050-3461-7259

SDGs 達成に向けた取組み

小学生に対する交通安全の啓蒙 取組み



目的・背景

弊社とあいおいニッセイ同和・愛媛支店プロ会が連携して、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金が製作した「うんこ交通安全ドリル」の歩行者編と自転車編、計 24,600 冊を松山市教育委員会 (藤田仁教育長) に寄贈、市内の全小学校へ持参しました。

具体的な取組内容

松山市内の小学校が夏休み期間に入るにあたり「交通安全意識が高まる効果を期待」して、贈呈式は松山市役所内の教育委員会で7月11日(月)に行いました。

寄贈式の中で、藤田教育長から「ここ数年で小学生が巻き込まれる交通事故の件数は減ってきてはいるが、まだまだ悲惨な事故は後を絶たない。夏休み前にこのような親しみのあるキャラクターを活用した教材で交通安全活動啓蒙をすれば、生徒の理解度も深まり効果が高いと思います。」とコメントをいただきました。

成果

親しみやすいドリルを使用した学習で、交通事故防止に対する意識の啓蒙が図れたと思います。



寄贈式

担当者の思い

子どもの交通事故軽減は未来や平和を守ることなので、配布に協力させていただき、すがすがしい汗をかけました。〈地域戦略室 担当課長 杉山 高志〉

株式会社ライアル

代表者 / 代表取締役 中野 直美
業 種 / エステ業
所在地 / 愛媛県松山市湊町 4 丁目 12-9 メゾン M2 4F
連絡先 / 090-9779-3059

SDGs 達成に向けた取組み

最も身近にいるスタッフへの配慮を行い、働きやすい職場作りを行う



目的・背景

目標 3：『働いているスタッフへの配慮』

SDGs を単なるパフォーマンスとして利用するのではなく、まずは最も身近にいるスタッフに対しての配慮を意識することが大切だと感じました。

人を雇う立場にある企業は、すべての従業員が心身の健康を保つために配慮しなければなりません。

労働基準法を超える残業を行わせていないか、有給休暇取得による適度なリラックスを図っているかなど、様々な視点から気を配ることが重要です。

中には、サービス残業や勤務時間外の研修があるサロンもあると聞いています。

本人の意思にそぐわず、過度なストレスを与える制度になっていないか注意を払いました。

目標 4：人材育成の強化を図るため、ハイレベルな技術・サービスを取得するための講習会に参加します。

目標 12：ワンウェイの容器包装のリデュース等の徹底を行います。

具体的な取組内容

働く女性の健康生活をサポートし、健康面で安心して働ける職場環境の創出を実現することが大切だと考え、様々なスタッフが働き、輝け

る環境を作り出し、社員の働きやすい職場環境作りを行いました。勤務体系や勤務時間ではなく、「仕事の質」で評価を行い、時短や在宅での勤務制度を整え、ライフスタイルに合わせた社員の働きやすい職場作りを実現させました。

また、年齢にとらわれず、幅広い採用を行いました。(令和 3 年 12 月)ワンウェイの容器包装のリデュース等の徹底を行うため、お客様にもリデュース商品をおすすめしました。(令和 3 年 12 月)

成果

目標 3：スタッフが希望する時間帯でシフトを調整しました。その結果、育児中のスタッフも子どもを預けている時間帯に働くことができたことと喜んでくれています。

目標 4：毎月顧問会社（ドクターセラ）実施の研修に Zoom 参加していましたがサロンにいなくても行えるため、リモートワークとしました。

目標 12：ワンウェイの容器包装のリデュース等の徹底を行うため、再生プラスチックや植物由来プラスチックもしくは紙等の再生可能資源への代替を促進しました。

担当者の思い

SDGs に積極的に取り組んでいることで、人材確保にも寄与していると感じます。さらに、社内でも弊社が行う SDGs の取組みを共有することで、スタッフの SDGs に対する意識が高まるとともに、モチベーションの向上にもつながっています。

今後も、企業にとってもメリットとなる SDGs 活動を考え、目標の達成に貢献していきます。(総務 藤本 香代)

株式会社広告通信社 四国支店

代表者 / 支店長 武田 茂人
業 種 / 広告代理店
所在地 / 愛媛県松山市昭和町 52-2
連絡先 / 089-989-3663

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs の意義・理解促進のための社員等へのアプローチ



目的・背景

SDGs は広く世の中に知れ渡ってきていますが、会社で働く社員にとっては「自分事」として捉えきれていない側面があります。そこで、社員一人ひとりが SDGs とは何か、何のために活動に取り組むのかを落とし込むとともに、SDGs が社員の日常の業務や営業活動等においても密接に関わっていることを認識してもらうため、理解促進に向けた取組みを実施しました。

具体的な取組内容

【職場環境の整備】(SDGs ゴールのうち 3・8：令和 4 年 7 月)

・事務所移転をトリガーに、これまで狭隘かつ雑然としていたデスク周り等を整備し、社員が気持ちよく働ける職場環境を構築しました。

【SDGs の普及】(SDGs ゴールのうち 7・8・17：令和 4 年 7 月～ 11 月)

・愛媛県 SDGs 推進企業への登録を捉え、支店内社員に対し SDGs の理解、会社として取り組むことの意義、私たちの業務との関わりについて研修会を行うとともに、電気使用量、紙使用量を「見える化」し、私たちができることを議論しました。

・愛媛県 SDGs 推進企業登録マークを活用した SDGs グッズ (①愛

媛県 SDGs 推進企業登録マークの支店入口への掲出、②社用車への SDGs マグネット板の貼付、③名刺への SDGs シール貼付、④ SDGs ピンバッジをスーツに着用)を制作し、弊社が SDGs 推進に取り組んでいることを社内外に認識していただくとともに、NTT グループ各社にも当該グッズを紹介しました。

【社会貢献活動】(SDGs ゴールのうち 11・17：令和 4 年 12 月)

・NTT 西日本四国支店が開催した「NTT 環境クリーン作戦 2022 in 愛媛」に参加し、NTT グループ各社とともに道後公園の清掃活動を行いました。

成果

会社として SDGs に取り組むことを社員とともに考え、実践する意識の共有を行うことができ、また、SDGs グッズを紹介することにより、愛媛県 SDGs 推進企業に登録している NTT グループ各社及び一般企業のお客様にも SDGs 推進について意識を高めていただくことができたと考えています。

担当者の思い

社会全体が SDGs の推進をしていくためには、私たち社員一人ひとりが身近なところから実践することが第一歩だと思います。

SDGs グッズを制作したことにより、社員への理解浸透はもとより、お客様を訪問した際にも話題になり、営業活動の幅が広がったと感じています。(四国支店 担当部長 川岸 広明)

株式会社西四国マツダ

代表者 / 代表取締役 池田 保之
業 種 / 小売業
所在地 / 愛媛県松山市土居町 793 番地 1
連絡先 / 089-969-1525

SDGs 達成に向けた取組み

経済活動における CO₂ 排出量の削減



目的・背景

CO₂ 排出量を削減し、環境保全に努める

私たちのミッションは心の通った車の販売・サービスを通じて、お客様に安全・安心のカーライフを提供するとともに、お客様の人生を、健康で美しいものにしていくことです。そのために会社内での CO₂ 排出量削減の取組みとともに、安全性が高く、環境性能の優れたエコカーの販売、質の高い定期的なメンテナンスを提供することにより、実現します。

具体的な取組内容

エコアクション 21 の活動とともに、年 1 回の環境レポートを HP で公表

①電力使用量の削減

不要な照明の消灯・節電の徹底や冷暖房（冷房 28℃ 暖房 20℃）の事務所の温度設定、エアコンフィルターの定期的な清掃、待機電源 OFF、アースアワー（世界規模の消灯イベント）、クールアース参加など

②化石燃料使用量の削減

エコドライブの実践、社用車の定期的な点検・空気圧 check・エコ

オイルの使用・エアコンフィルター交換・燃費及び環境性能に優れたクリーン DE 車の使用、会議を Web で行い、自動車移動を削減など

③環境性能、安全性の高い新型車の拡販により、環境負荷を抑えるとともに、お客様に安心・安全のカーライフを提案

成果

CO ₂ 排出量	▲ 7 % (対前年比)
電気使用量	▲ 7 % (対前年比)
ガソリン使用量	▲ 7 % (対前年比)
軽油使用量	▲ 9 % (対前年比)
ガス使用量	▲ 40 % (対前年比)
灯油使用量	▲ 40 % (対前年比)
新型車計画比	120%達成 (R4. 4～9月)

担当者の思い

SDGs の活動に参画することで、私たちの生業は単なる移動手段の車の販売やサービス技術を提供することではなく、マツダ車を通じて、お客様に豊かで幸せな人生を送っていただくことだと、スタッフ全員が感じてくれるようになってきたと思います。地域の方々に貢献できる会社となるよう、今後も取り組んでいきたいです。(管理部 部長 平川 勝彦)

有限会社土居真珠

代表者 / 代表取締役 土居 一徳
業 種 / 卸・小売業
所在地 / 愛媛県宇和島市三浦西 5121-9
連絡先 / 0895-29-0011

SDGs 達成に向けた取組み

環境に配慮したものづくりへの取組み



目的・背景

真珠養殖過程で真珠取り出し後に出てくるアコヤガイの貝殻は、通常は海外に輸出されボタンなどの材料にされていますが、国内でも消費ができる方法を考えました。

具体的な取組内容

真珠養殖使用後のアコヤガイの貝殻の真珠層のみを削り出し、パールパウダーを製造しました。

当パールパウダーは、化粧品や食品の材料として使用しています。土居真珠のパールパウダーは、愛媛県認定優良リサイクル製品に認定されています。

成果

在庫が少なくなったら貝殻を削り、パウダーを製造・補充しています。毎年貝殻を使用するかどうかはパウダーの売上によるため、これまではパウダーを作らない年もありましたが、令和 4 年は令和 3 年に続き新しいパウダーを作ることができ、貝殻を消費することができました。



担当者の思い

真珠養殖は自然の恩恵を受けて仕事ができます。私たちはその自然に少しでも恩返しをしなければならないと考えています。(代表取締役 土居 一徳)



株式会社光和電機

代表者 / 代表取締役 石川 豊和
業 種 / 電気工事業 (設計・施工)
所在地 / 愛媛県四国中央市下柏町 836 番地の 1
連絡先 / 0896-24-1204

SDGs 達成に向けた取組み

「自家消費型太陽光発電」設備の導入提案・設計・施工による グリーンエネルギー導入推進とカーボンニュートラル実現サポート



目的・背景

国内有数の製紙産業が盛んな地元四国中央市に本社を構える私たちにとって、製造業（工場）の発展は、地域社会の活性化という視点においても、「誰一人取り残さない」を基本理念に据える SDGs の達成に必要不可欠です。

そして、ものづくりの活性化と同時に「グリーンエネルギー創出とその活用」を実行することで、より持続可能な社会を実現できると考え、自社の主力事業である「電気工事業」という特性・強みを活かし、ものづくりのサポート（製造工場の新築・改築・設備メンテナンス）だけでなく、「カーボンニュートラル（脱炭素）」の実現をサポートできればと考え、本取組みの実施に至りました。

具体的な取組内容

令和4年4月に竣工した「服部製紙(株) 様の衛生用品製造工場において、当社にて工場の電気設備、空調設備工事だけでなく、「自家消費型太陽光設備」の導入提案から設計、施工までトータルで実施しました。（施工期間：令和3年6月～令和4年4月）新工場の屋根に計971枚の太陽光パネルを設置し、220kwhの電力を生み出すことで、工場の運営に必要な電力を最大100%（月平均で50%～20%）を【自家消費】でまかなうことができる設備です。

また太陽光発電による発電量や工場における自家消費率など、「リアル

タイム」で計測・確認ができる「電力の見える化（モニタリングシステム）」を導入しており、社内外で発電状況・自家消費状況が確認できるようになっています。

成果

「自家消費型太陽光発電」をお客さまの大型工場に導入することで、「お客さま自ら太陽光から電気を生み出し」、工場における日々の電気使用量のうち、最大で100%のグリーンエネルギー活用が実現できています。

カーボンニュートラル（脱炭素）が叫ばれる今、エネルギーを使うだけでなく、自らエネルギーを生み出し、貴重な資源や環境を守ることが、持続可能な世界を守り続けるために求められています。

私たち光和電機が、電気工事業に携わる者として、電気を使うだけでなく、電気を生み出す、しかもグリーンエネルギーを使って生み出す、そのサポートを「導入提案」から実施できたことが、SDGsの実現の一助となれば幸いです。

担当者の思い

私たち光和電機は、限りある資源を守り、未来の子どもたちのためにより良い形で環境を引き継いでいくという使命の中で、「企業・社会市民」としてやらねばならないルールが「SDGs」という言葉で、わかりやすくまとめられていると認識しています。SDGsを通じて、会社が目指すべき方向もより明確になり、社員を始めとする「関わる方々の幸福」を追い求める会社へ、さらに変化していっていると感じます。（代表取締役 石川 豊和）



荒川電工株式会社 松山営業所

代表者 / 所長 松岡 岳彦
業 種 / 建設業（環境関連事業・電気工事）
所在地 / 愛媛県松山市東石井 6 丁目 1-42
連絡先 / 089-997-7635

SDGs 達成に向けた取組み

地域へのカーボンニュートラルの 取組み



目的・背景

カーボンニュートラルへの取組みを自社だけでなく、地域のお客様の脱炭素実現に向けてのお役立ちを図っています。

脱炭素化に加え、電気料金高騰などの状況を踏まえ、自社のこれまでの知識やノウハウを活用して、地域のお客様の課題解決のご支援に貢献します。

具体的な取組内容

1. 自社のお客様にご提案・ご提供できる「脱炭素」のソリューション内容の整理を実施（省エネ・創エネ・蓄エネなど）。
2. その中で企業や家庭へもご提供できる「自家消費型太陽光発電システム」を重点ソリューションとして選定。
3. 弊社松山営業所だけの取組みではなく、本社（高知）も巻き込み、全社事業として取り組む。
4. また、自社だけの展開ではなく、地域企業・団体のご協力をいただき、地域連携での展開としたい。
5. 具体的な連携先として、リコージャパン様・リコーリース様・エコ・プラン様・高知銀行様・高知県グリーンディール協会様に依

頼、ご賛同いただく。

6. 連携先企業様とのアライアンス説明会を実施し、それぞれの強みを活かした活動に合意いただく（R4/11/29_高知本社にて）。

<自家消費型太陽光発電システム導入へのお役立ち>

個人（住宅）や企業（社屋や工場）の屋根で太陽光にて発電した電力を自らの生活や事業で活用し、これまでの電力を再生可能エネルギーに置き換え、CO₂削減に貢献する。

成果

11 月末現在、自家消費型太陽光発電システムの案件創出数：9 件（四国）、成約件数（連系完了）：1 件（愛媛）

成約されたお客様の概要：オフィス向け自家消費型太陽光発電システム（8.1kw）⇒ CO₂削減量：3,991kg / 年

スタートし始めた段階なので、これからも活発に活動を進めていきます。

担当者の思い

気候変動・地球温暖化に起因する「CO₂」の削減などを自社の事業で貢献できることにやりがいを感じています。地域の企業様とのパートナーシップ（連携）を発揮することにより、一体となって強力に地域の社会課題の解決につながりそうです。（ゼネラルマネージャー 西 恭寛）



株式会社勝建設

代表者 / 代表取締役 高橋 健志郎
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県西条市飯岡 2564 番地 19
連絡先 / 0897-27-2378

SDGs 達成に向けた取組み

SDGs 視点での次世代につなぐ家づくり



目的・背景

地球温暖化対策として電気代も CO₂ 排出量も少ない ZEH100%で家づくりを行い、地元である愛媛県で、建設業として次世代につなぐ家づくりを目標に掲げ取組みをしています。住宅を通して、世代を超えて全ての人が自分らしく生きられる社会へ変えていきます。

具体的な取組内容

私たち ideal house は「人づくりを通してお客様に「喜び・満足・安心」を提供し、社業の発展を通じ社会貢献することを誓います。」を経営理念に掲げ、働く人がやりがいを持って楽しく働ける環境を作るため、令和 4 年 12 月 12 日 (月) にオフィスを移転させ女性スタッフを中心に雇用しています。(令和 4 年 12 月 1 日 (木) に女性スタッフ 1 名雇用) 小さなお子様がいても一緒に出社できるように 2 帖のベビールームを作りました。授乳中のお客様も安心して使用できるように鍵も取付けしています。また、限られた森林資源を上手に活用する



ために 100% 西条産材の柱を家づくりに使用しています。

成果

ハウスオーナー様からも友達のお家と比べても電気代が 2,000 円~3,500 円安い、暖房無しでも寝室が暖かいとお話を聞きました。7「エネルギーをみんなにそしてグリーンに」11「住み続けられるまちづくりを」に貢献しました。



担当者の思い

次世代につながる家づくりを行うために、女性スタッフを中心に採用していますが、いつも職場が楽しそうです。お客様も女性スタッフを中心に打ち合わせを楽しそうにしています。オフィス移転に関しても、女性スタッフが積極的に間取りやインテリアデザインを決めていました。また、ハウスオーナーからも住み心地もよいので満足していると、とても嬉しいお言葉を頂戴しています。兼業農家もしているので所有の畑でサツマイモ掘りイベントを開催し、ハウスオーナーのお子様たち楽しんでもらっています。畑でサツマイモができるまでのお話をしたり収穫をしたり、SDGs に少しでも興味を持っていただければお子様たちが少しでも夢を持てるようになるのかなあと嬉しく思います。

(代表取締役 高橋 健志郎)

株式会社グラン・ジュテ

代表者 / 代表取締役 大石 千枝
業 種 / ハンバーガー製造・販売
所在地 / 愛媛県松山市古川北 3-10-3
連絡先 / 090-2787-2999 (担当者 携帯)

SDGs 達成に向けた取組み

高度小児医療施設に隣接する滞在施設 (ドナルド・マクドナルド・ハウス) の支援



目的・背景

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」(以下略 DMH) で病気と闘う子どもとその家族の支援 (SDGs の基本理念 3「すべての人に健康と福祉を」) を通じて、共に助け合う社会 (17「パートナーシップで目標を達成しよう」) を目指したチャリティ文化の醸成と、「病気の子どもとその家族を笑顔にする」活動に取り組んでいます。

具体的な取組内容

11月6日を青いマックの日と称し、当日店舗にお越しいただくお客様への DMH の周知活動及び募金活動を実施しました。(R4.11.6)
・周知活動では、店舗に来店いただいたお客様のご協力により、病気と闘う子どもとそのご家族へメッセージをいただきました。また、法人店舗 (法人店舗 7 店舗合同) の従業員が店舗近隣でラン&ウォークを行い、想いをつなげる活動を行いました。
・募金活動では、ご来店のお客様による募金箱への募金、モバイルオーダーによるネット募金、事前に配布していたミニ募金箱の回収やハッピーセット (お子様向けミールセット) 購買訴求により売上の一部 (1 セットにつき 50 円) がドナルド・マクドナルド・ハウス財団へ寄付

されています。また近隣のご賛同いただける事業所様にも募金箱を設置していただきご協力を賜りました。

11 月の 1ヶ月間 (R4.11) を強化月間とし活動しましたが、周知活動、募金活動は継続して通年でを行っています。

成果

法人店頭での募金額 ¥65,103 (40% UP : R3 比較)、ハッピーセットからの募金 ¥109,200 となり、たくさんの方にご協力をいただきました。約 1,000 人の方々から想いを届けるメッセージをいただき、DMH の輪が広がりました。3「すべての人に健康と福祉を」を目的とした取組みでしたが、地域の方に支えられて活性化したことで、17「パートナーシップで目標を達成しよう」にも大いに貢献できました。

担当者の思い

弊社では、入社でのオリエンテーションから企業の社会的役割について学習するシステムがあり、従業員は知識としては知っています。プラスチックごみ削減や簡易包装、雇用制度、原材料に対する取組み等々ありますが、SDGs の取組みを仕事の一環としてとらえていた従業員が、今回のように成果を実感したことで自分が社会の一員として取り組めるようになっていき、各々の自己の成長につながっていると感じています。(サービスインストラクター 枇杷田 真弓)



企業組合こもねっと

代表者 / 代表理事 高木 治
業 種 / 水産
所在地 / 愛媛県宇和島市蔭淵 1068
連絡先 / 0895-63-0163

SDGs 達成に向けた取組み

ワルキューレプロジェクト



目的・背景

加工時に出る廃棄していた真鯛の未利用部位を使用して、商品開発を行っています。未利用部位は、中骨部位で栄養価も高く、健康需要にも貢献できる商品ができると考え、商品を開発しています。

具体的な取組内容

令和4年度7月より、真鯛の未利用部位を使用した商品開発を開始しました。同じ企業組合遊子川ザ・リコピンスと共同で、海の幸「真鯛の中骨ペースト・鯛出汁」、山の幸「トマト果汁」を使用した真鯛のトマトソースを製造中です。また、河原学園 近藤 一樹氏に商品開発のご指導をいただき、パッケージ・販促などを株式会社クリエに委託し、事業を展開しています。

成果

販売が令和5年1月からなので実績は分かりませんが、各企業のノウハウを生かし、未利用部位を有効利用した真鯛・トマトの美味しさがコラボした商品ができました。



担当者の思い

地方を持続的な未来につなげるためには、個の力で努力するよりパートナーシップを結び、お互いの良いもの・得意分野をコラボさせていくことが必要です。また、埋もれている経営資源の発掘も大事な要素になってくると考えています。より多くの企業とパートナーシップを結ぶことで、埋もれている経営資源の発掘にもつながると考えます。(営業部 営業部長 高木 元)



IHテクノロジー株式会社

代表者 / 代表取締役社長 幾島 嘉浩
業 種 / 石油関連の技術開発
所在地 / 愛媛県西条市朔日市 556-1
連絡先 / 0897-47-7517

SDGs 達成に向けた取組み

環境負荷低減の石油製品の製造



目的・背景

目的：バイオマスと二酸化炭素を原料として環境負荷の低減を可能とする石油製品を製造します。

背景：温室効果ガスである二酸化炭素の削減を目指し、二酸化炭素を原料として、石油製品を製造することで地球温暖化の防止に貢献するため、取組みを開始しました。

具体的な取組内容

令和3年4月～令和4年3月まで国内、海外の動向を調査しました。

令和4年4月～実験方法の内容の検討を開始しました。

成果

二酸化炭素と水素を原料として、石油製品を製造する国内外の技術動向を把握できました。

販売中の水銀除去装置に対して第9回ものづくり日本大賞 四国経済産業局長賞を受賞させていただきました。なお、同装置は平成19年には石油学会技術進歩賞を受賞しています。

担当者の思い

少しでも環境負荷低減に貢献できる実感を得ることができます。

〈専務取締役 幾島 賢治〉

リープグロウ合同会社

代表者 / 代表社員 甲斐 和博
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県松山市日の出町 8-42 シャトー宇都宮 102
連絡先 / 089-997-7184

SDGs 達成に向けた取組み

再生可能エネルギーの有効活用



目的・背景

再生可能エネルギーの有効活用に取り組んでいます。

具体的な取組内容

再生可能エネルギー、主に太陽光発電に関して蓄電池の販売設置を推進することにより、発電した電気を売電せずに全て企業及び個人宅内で使用してもらうことで、エネルギーの地産地消を促進し電気の安定化を図っています。

成果

愛媛県の企業及び個人宅に計10件の蓄電池を設置してもらうことができました。

担当者の思い

エネルギー問題は、ロシアによるウクライナへの侵攻により世界的に深刻化しています。少しでもエネルギー問題の解消に役立てることができていると感じており、社員のやりがいにもつながっていると思います。〈代表社員 甲斐 和博〉

有限会社ウエコー

代表者 / 代表取締役 上田 省吾
業 種 / 建設業
所在地 / 愛媛県伊予郡松前町北川原 987-9
連絡先 / 089-985-4031

SDGs 達成に向けた取組み

地域との関係性



目的・背景

地域の方々との交流、清掃活動を通じて地域密着型の会社を目指しています。

具体的な取組内容

地域清掃や、地域行事に積極的に参加しています。

成果

地域の方々に少しずつ会社名などを覚えてもらっています。



担当者の思い

地域の方々との交流を通じて仲良くさせてもらっています。

〈中矢 博規〉

愛媛県SDGs推進企業一覧

【第2期（登録期間：～令和5年7月31日）】

番号	企業・団体等名	番号	企業・団体等名	番号	企業・団体等名
2-1	(株)山装	2-49	みずほ証券(株) 松山支店	2-97	(株)よしだ
2-2	(株)田窪工業所	2-50	福神汽船(株)	2-98	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 愛媛支店
2-3	おばんざいあり	2-51	(株)ローソン	2-99	ウダカエンジニアリング(株)
2-4	(有)角田塗装工業	2-52	青木電気工業(株)	2-100	宗教法人法華寺
2-5	金生商事(株)	2-53	(株)大石工作所	2-101	三井住友海上火災保険(株) 四国西支店
2-6	tonari	2-54	東武トップツアーズ(株) 松山支店	2-102	(株)ライアル
2-7	(有)影浦塗装工業	2-55	(株)Saku Saku	2-103	(株)NTT フィールドテクノ 愛媛設備部
2-8	(有)福田瓦工業	2-56	(株)イクシオ	2-104	(株)広告通信社 四国支店
2-9	四国竹林塗装工業(株)	2-57	西日本電信電話(株) 四国支店	2-105	(株)西四国マツダ
2-10	キャリア・サポート(株)	2-58	(株)さかい総合保険事務所	2-106	(有)土居真珠
2-11	(株)宝荘ホテル(道後御湯)	2-59	佐川印刷(株)	2-107	(株)高橋工務店
2-12	農業生産法人(株)ミヤモトオレンジガーデン	2-60	ヤマセイ(株)	2-108	ネットヨタ瀬戸内(株)
2-13	(株)LIHO ライジング	2-61	三王ハウジング(株)	2-109	山の手リゾート(株)
2-14	ジャスティン(株)	2-62	(有)タカヨシ工業所	2-110	(株)地域科学研究所
2-15	(株)日本有機四国	2-63	(株)大旺	2-111	(株)光和電機
2-16	岡田電機(株)	2-64	大王製紙(株)	2-112	荒川電工(株) 松山営業所
2-17	(有)シグマ企画	2-65	安藤工業(株)	2-113	Ciras (株)
2-18	IHテクノロジー(株)	2-66	(株)二神組	2-114	(株)クレイン ジュエルカフェ エミフルMASAKI店
2-19	川之江信用金庫	2-67	(株)中温	2-115	(株)クレイン ジュエルカフェ フジグラン松山店
2-20	トヨタカローラ愛媛(株)	2-68	森実運輸(株)	2-116	(株)クレイン ジュエルカフェ フジグラン重信店
2-21	松竹塗装(有)	2-69	四国加工(株)	2-117	(株)クレイン ジュエルカフェ 松山銀天街店
2-22	(株)ビューティー・セレクト	2-70	(有)田中総業	2-118	(株)クレイン ジュエルカフェ フジ東予店
2-23	(株)四国ライト	2-71	(株)建設マネジメント四国 松山営業所	2-119	(株)クレイン ジュエルカフェ フジグラン川之江店
2-24	社会福祉法人エリム会	2-72	リコージャパン(株) 愛媛支社	2-120	(株)勝建設
2-25	リープグロウ(同)	2-73	ヴェオリア・ジェネッツ(株) 新居浜営業所	2-121	南海測量設計(株)
2-26	西条建設(株)	2-74	ゼロハウス(株)	2-122	(株)グラン・ジュテ
2-27	愛媛シールド工業(株)	2-75	損害保険ジャパン(株) 愛媛支店	2-123	企業組合こもねっと
2-28	菊池建設工業(株)	2-76	日本生命保険(相) 松山支社	2-124	(株)Protea
2-29	ダイキンエアテクノ(株) 四国支店	2-77	白石建設工業(株)	2-125	Bakery Beans
2-30	(株)阪急交通社 松山支店	2-78	日本テクノ(株) 松山営業所	2-126	(株)洋武建設
2-31	(株)ダスキン椿	2-79	(株)曾我部鐵工所	2-127	(株)AZUMI
2-32	阿川食品(株)	2-80	重松兄弟設備(株)	2-128	(株)マルシン工業
2-33	東京海上日動火災保険(株) 愛媛支店	2-81	(株)CPI	2-129	(同)OHANA
2-34	(株)ニューズ	2-82	ABC 開発(株)	2-130	旭食品(株) 松山支店
2-35	(有)エントロピー	2-83	NTT 西日本ビジネスフロント(株) 愛媛支店	2-131	大和リース(株) 松山支店
2-36	(株)あわしま堂	2-84	住友生命保険(相) 新居浜支社	2-132	(株)ケイ・アール総合企画
2-37	加地電設(株)	2-85	(株)日浅	2-133	(株)新光
2-38	井原工業(株)	2-86	NTT ビジネスソリューションズ(株) 愛媛ビジネス営業部	2-134	(有)山海興産
2-39	(株)コスにじゅういち	2-87	(株)輝城	2-135	(株)森薫
2-40	(有)湯き国	2-88	愛媛トヨタ自動車(株)	2-136	(株)オールウェイズ
2-41	(株)眞鍋組	2-89	(株)山全 愛媛営業所	2-137	加藤塗装工業(株)
2-42	(株)ベルモニー	2-90	(株)ドコモ CS 四国 愛媛支店	2-138	(株)沼田建設
2-43	ためき本舗(株)	2-91	(有)ウエコー	2-139	(株)エコアシスト
2-44	コンフォートホテル松山	2-92	キスケ(株)	2-140	道後ピクルス
2-45	MS 四国(株) 愛媛支店	2-93	(株)ファミリーマート 西日本エリア本部 四国リージョン		
2-46	太平ビルサービス(株) 松山支店	2-94	(株)建設マネジメント四国 大洲営業所		
2-47	愛媛海運(株)	2-95	(株)ホーム設備		
2-48	ヴェオリア・ジェネッツ(株) 松山営業所	2-96	(株)ONE'S STYLE NISHIKAWA		

※申請受付順 ※令和5年2月28日時点



「愛媛県SDGs推進企業」に関するお問合せ

愛媛県経済労働部産業雇用局産業政策課 経済企画グループ
〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
TEL / 089-912-2475 FAX / 089-912-2259

令和5年3月発行



こみきやん